

平成30年度

学生による授業評価 アンケート実施結果報告書

—授業の質的向上と発展を目指して—



《農学系総合研究棟から仙台市内にまたがる虹の架け橋》

東北大学大学院農学研究科・農学部
評価室

目 次

はじめに	1
I. 学生による農学部授業評価	3
1. アンケートの実施方法	3
1) 実施の概要 2) 実施の方針 3) アンケート作成 4) 実施方法の概要	
2. アンケートの集計結果の分析(講義)	3
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
3. アンケートの集計結果の分析(実験・実習)	15
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
4. 参考資料	25
1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙	
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙	
2) 授業評価実施科目表（科目別受講者数およびアンケート回収率）	
3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について	
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について	
4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について	
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について	

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価	34
1.アンケートの実施方法	34
1) 実施の概要 2) 実施の方針 3) アンケート作成 4) 実施方法の概要	
2. アンケートの集計結果の分析	35
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
3. 参考資料	44
1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙（2 学期）	
2) 授業評価実施科目表（科目別受講者数およびアンケート回収率）	
3) 「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について	
4) 「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について	

はじめに

農学研究科・農学部での授業評価は、学生による授業評価を平成10年度の2学期と同11年度1学期に初めて実施され、同15年度以降は毎年実施しております。毎年実施されるようになって平成29年度で15年目となります。本報告書は平成30年度の回答結果を令和元年度にまとめたものです。報告書のとりまとめは1年遅れとなります。

授業評価の直接的な目的は日常の授業の質的向上です。そして、その評価結果は大学の普段の活動状況に関する説明責任を果たすための資料になっています。

2020年度（令和2年度）には第3期中期目標期間（平成2016年度から2021年度）に係る業務の実績に関する4年目終了時評価が行われます。そのために令和元年度に作成している現況調査表には「学生による授業評価」を引用して判断基準としています。

農学研究科・農学部において「学生による授業評価アンケート」は平成30年度まで紙媒体で実施しておりしておりました。令和元年度からはWEBマーケティングツールを利用したスマートフォンによるアンケート実施をしております。本報告書は紙媒体で実施したアンケートを集計した最後の報告書となります。また、2019年（平成31年）3月作成の報告書からは統計的分析データをPDF化して農学部・農学研究科HPで公開することといたしました。

農学研究科・農学部は平成28年度秋から冬にかけて雨宮キャンパスから青葉山新キャンパスへ移転しました。雨宮キャンパスでの授業最終日は平成28年12月22日でした。平成29年4月からは青葉山新キャンパスでの講義が始まりました。本報告書は青葉山新キャンパスでの講義における2年目の講義についての報告書となります。講義室にビデオ録画システムが設置されたことにより、講義を録画して配慮が必要な学生に提供したり、遠隔地の学生に配信したりできるようになり、平等な教育を充実させることができました。WiFi環境も劇的に良くなり、どこでもeduroamに接続できるようになったことから、勉学や研究のみならず青葉山コモンズを利用した学会の開催などにも大いに役立っています。移転前の雨宮キャンパスでの講義に比べ、「学ぶ環境」が格段に改善され、授業の質の向上と発展にもつながっていると思います。

最後に、学生による授業評価に協力を頂いた学生諸君と教員の皆様、同評価のための事務作業担当者、並びに評価報告書を取りまとめられた専門委員会の方々に謝意を表します。

令和2年1月

評価室長 鳥山欽哉

I.学生による農学部授業評価

I. 学生による農学部授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学部授業評価は、農学部における専門教育を受講している1年生、2年生、3年生および4年生を対象とした。

2) 実施方針

- (1) 実施は平成30年度に行われた農学部講義と実験・実習を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、2単位の授業では平成30年6月下旬と平成31年1月に実施し、1単位の授業では終了時に実施した。実験・実習については各授業の終了時に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともにアンケート用紙にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 各設問に対する回答は、4段階評価で行った。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、平成30年6月下旬および平成31年1月の各セメスター終了時の授業時間にアンケート用紙を配布し、回収は学生によって行われた。実験・実習については、各授業の終了時に実施した。
- (2) 回収されたアンケート用紙は、学生が封をし、教務係に提出した。
- (3) 教務係では、回収アンケート用紙の学生の氏名部分を切り取り、業者に集計を依頼した。
- (4) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
平成30年度1学期は97科目（内、実験・実習は22科目）、2学期は75科目（内、実験・実習は9科目）で実施された。講義の履修届者数は1学期3,075名、2学期2,232名、アンケート延べ回答者数は1学期2,549名で回収率は82.9%、2学期1,862名で回収率は83.4%であった。
実験・実習の履修届者数は1学期657名、2学期268名、アンケート延べ回答者数は1学期581名で回収率は88.4%、2学期268名で回収率は82.5%であった。

2. アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:いまこの場で受講している講義の種類

設問②:この講義にどの程度出席しましたか。

設問③:出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。

設問④:この講義について予習・復習をしましたか。

設問⑤:この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。

設問⑥:授業概要(シラバス)は有用でしたか。

設問⑦:授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。

設問⑧:内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。

設問⑨:講義について教員の熱意を感じましたか。

設問⑩:講義を進める速度は適切でしたか。

設問⑪:説明は良く聞き取れましたか。

設問⑫:板書等の文字は、読み易かったですか。

設問⑬:視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問⑭:資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問⑮:教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。

設問⑯:宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

設問⑰:この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。

設問⑱:講義内容はどの程度理解したと思いますか。

設問⑲:講義の難易度は適切でしたか。

設問⑳:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:必修か選択かを問う設問である。必修の割合は、1 学期 74%、2 学期 58%であった。

設問②、③:出席割合と評価資格があると思うかを問う設問である。出席については 90%以上出席が 1 学期は 84%であったが、2 学期は約 85%と同程度であった。評価資格については、十分あると答えた者の割合が 1 学期では 70%、2 学期では 71%とやや控えめである。

設問④、⑤:講義に対する学生の取り組みを問う設問である。予習・復習については、「良くした」と「した」の合計が 1 学期 39%、2 学期 51%であった。1 学期は 40%を切る値となったため、もう少し予習・復習を意識付ける必要がある。取り組みについては、「極めて熱心に取り組んだ」と「熱心に取り組んだ」の合計は両学期とも 77%であり、前年度から向上しており熱心さがうかがえた。一方、あまり熱心に取り組んでいない学生が両学期とも 23%いることにも留意する必要がある。

設問⑥、⑦:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスの有用性については、「大いに有用だった」と「有用だった」の合計は、1 学期が 81%、2 学期は 83%と高く、また 1 学期、2 学期ともに 90%を越える学生がシラバスに沿って講義が行われていると回答している。したがって、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。

設問⑧、⑨:教員の講義に対する準備や熱意を問う設問である。1 学期、2 学期とも 90%を超える学生が講義内容は準備されていたとしている。また教員の熱意に関しても、1 学期、2 学期ともに 96%の学生が

熱意を感じている。

設問⑩～⑫:教員の講義の仕方に関する設問である。講義を進める速度に関して、両学期ともに 94%の学生がほぼ適切だと感じている。また、1 学期、2 学期とも約 90%の学生が講義を「よく聞き取れた」あるいは「聞き取れた」としており前年度より高い値であった。一方で、1 学期には 10%、2 学期には 11%の学生が「聞き取りにくかった」あるいは「聞き取れなかった」としており、引き続きマイクを使うなど配慮が必要と考えられた。板書については、両学期とも約 85%の学生が読み易かったと回答しているが、一方で、読みにくかったとしている学生が両学期において 13%おり改善が必要である。

設問⑬～⑮:教材の有用性に関する設問である。視聴覚・情報機器に関しては、有効だったと感じている学生は 1 学期が 72%、2 学期が 79%であった。有効でないとしている学生は両学期を通じて 3%と少なかった。配布資料や模擬実験についても役立ったと感じている学生は両学期を通じて約 80%であった。教科書や参考書が講義の理解に役立ったとする学生は両学期とも 50%程度と低かったが、これは未記入が多いことから、教科書や参考書の利用が特に推奨されなかったか必須ではなかったためと考えられる。実際、役に立たなかったとの回答は 5%程度であったため、教科書や参考書は有効であったと考えられる。

設問⑯、⑰:宿題・演習の有効性とオフィスアワーの設定に関する設問である。宿題・演習に関しては、両学期とも約 60%の学生が有効性を感じており、役に立たなかったとの回答は両学期とも約 5%と低かった。未記入が両学期とも 36%と高いことから、宿題・演習を課されていなかったあるいは課されても行わなかったことが考えられ、宿題・演習を学生が行った場合の有効性は高い。オフィスアワーの設定については、両学期とも 76～78%の学生が概ね適切であると回答している一方で、両学期を通じて約 20%の学生が未記入であった。適切でないとしている学生はわずかであったことからオフィスアワーの設定については問題ないと考えられるが、十分に認識されていない可能性もある。

設問⑱、⑲:講義の理解度と難易度を問う設問である。理解度については、両学期とも 85%を超える学生が理解できたと感じている。難易度についても、両学期とも 90%を超える学生が適切であると感じている。また難易度が適切でないとした学生は 5～7%であり難易度の設定に問題はないと考えられる。両学期を通じて 11～13%の学生が理解できなかったとしており、数値としては前年度から改善されている。引き続きわかりやすい講義の実施に努めることが求められる。

設問⑳:講義の満足度を問う設問である。両学期とも 90%を超える学生が満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 講義に対する学生の取り組みを問う設問と教員の講義の仕方に関する設問に対する評価は、前年度から改善されていた。
- ② 1 学期、2 学期ともに 90%を越える学生が講義はシラバスに沿って講義が行われていると回答しており、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。
- ③ 90%を超える学生が、講義内容は準備されており、また講義を進める速度に関してもほぼ適切だと感じている。
- ④ 90%を越える学生が教員の講義を行う姿勢に熱意を感じ、また総合的に満足している。
- ⑤ 難易度について、90%を超える学生が適切であると感じており、適切でないとした学生は 10%未満であった。

【改善を要する点】

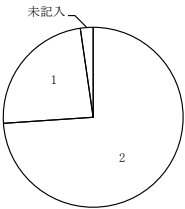
- ① 予習・復習を行った学生が 1 学期は 40%を切る値となったため、もう少し予習・復習を意識付ける必要がある。
- ② 授業にあまり熱心に取り組んでいない学生が両学期とも 23%おり、善処する必要がある。
- ③ オフィスアワーの設定については、両学期を通じて約 20%の学生が未記入であったことから、十分に認識されていない可能性がある。
- ④ 講義の基本となる説明において「聞き取りにくかった」あるいは「聞き取れなかった」とした学生が 1 割以上で、板書が読みにくかったとした学生が 2 割弱おり、マイクの使用や明瞭な話し方、読みやすい板書を心がける必要がある。
- ⑤ 難易度の設定には問題はないが、両学期を通じて 1 割強の学生が理解度が低いとしていたことから、引き続きわかりやすい講義の実施に努める必要がある。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

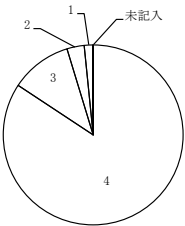
時間割コード：AB0000
授業科目名：全科目合計
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
①いまこの場で受講している講義の種類	2 必修	1,885	74.0
	1 選択	606	23.8
	未記入	58	2.3
②この講義にどの程度出席しましたか。	4 90%以上	2,146	84.2
	3 80-90%	281	11.0
	2 70-80%	80	3.1
	1 70%以下	39	1.5
	未記入	3	0.1
③出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。	4 充分ある	1,774	69.6
	3 一応ある	687	27.0
	2 あまりない	65	2.6
	1 全くない	20	0.8
	未記入	3	0.1
④この講義について予習・復習をしましたか。	4 よくした	322	12.6
	3 した	673	26.4
	2 あまりしなかった	1,030	40.4
	1 全くしなかった	522	20.5
	未記入	2	0.1

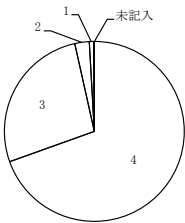
①必修・選択



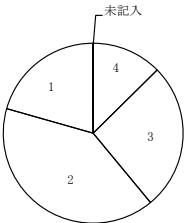
②出席



③評価資格



④予習・復習

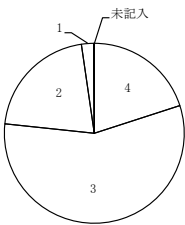


東北大学農学部講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

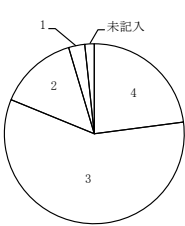
時間割コード：AB0000
授業科目名：全科目合計
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑤この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	510	20.0
	3 熱心に取り組んだ	1,444	56.6
	2 あまり熱心に取り組まなかった	536	21.0
	1 全く熱心に取り組まなかった	57	2.2
	未記入	2	0.1
⑥授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4 大いに有用だった	584	22.9
	3 有用だった	1,483	58.2
	2 あまり有用でなかった	363	14.2
	1 有用でなかった	75	2.9
	未記入	44	1.7
⑦授業概要（シラバス）にそって授業が行われていましたか。	4 行われていた	1,002	39.3
	3 だいたい行われていた	1,379	54.1
	2 あまり行われていなかった	103	4.0
	1 全く行われていなかった	15	0.6
	未記入	50	2.0
⑧内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	4 よくされていた	1,125	44.1
	3 されていた	1,249	49.0
	2 あまりされていなかった	154	6.0
	1 極めて不十分だった	15	0.6
	未記入	6	0.2

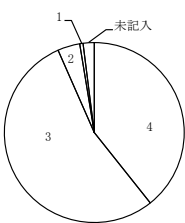
⑤取組み



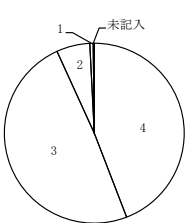
⑥シラバスの有用性



⑦シラバスとの整合性



⑧整理・準備

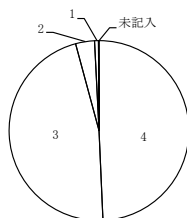


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

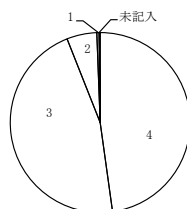
時間割コード：AB0000
授業科目名：全科目合計
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑨講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	1,257	49.3
	3 感じた	1,186	46.5
	2 あまり感じなかった	86	3.4
	1 全く感じなかった	17	0.7
	未記入	3	0.1
⑩講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	1,219	47.8
	3 概ね適切だった	1,177	46.2
	2 あまり適切でなかった	138	5.4
	1 全く適切でなかった	10	0.4
	未記入	5	0.2
⑪説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	1,136	44.6
	3 聞き取れた	1,146	45.0
	2 聞き取りにくかった	233	9.1
	1 聞き取れなかった	32	1.3
	未記入	2	0.1
⑫板書等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	967	37.9
	3 読み易かった	1,204	47.2
	2 読みにくかった	273	10.7
	1 非常に読みにくかった	55	2.2
	未記入	50	2.0

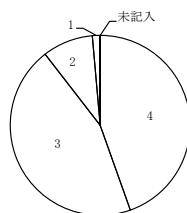
⑨熱意



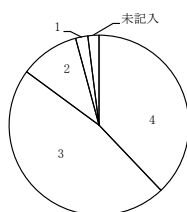
⑩講義速度



⑪説明



⑫板書

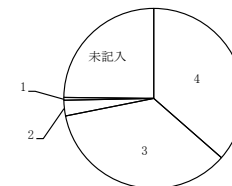


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

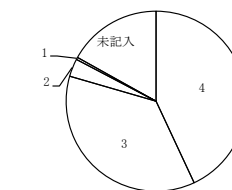
時間割コード：AB0000
授業科目名：全科目合計
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑬視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	929	36.4
	3 役立った	902	35.4
	2 あまり役立たなかった	71	2.8
	1 全く役立たなかった	14	0.5
	未記入	633	24.8
⑭資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	1,096	43.0
	3 役立った	928	36.4
	2 あまり役立たなかった	82	3.2
	1 全く役立たなかった	11	0.4
	未記入	432	16.9
⑮教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。	4 大いに役立った	555	21.8
	3 役立った	702	27.5
	2 あまり役立たなかった	104	4.1
	1 全く役立たなかった	21	0.8
	未記入	1,167	45.8
⑯宿題（レポートを含む）や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	689	27.0
	3 役立った	823	32.3
	2 あまり役立たなかった	109	4.3
	1 全く役立たなかった	19	0.7
	未記入	909	35.7

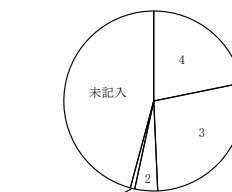
⑬視聴覚・情報機器



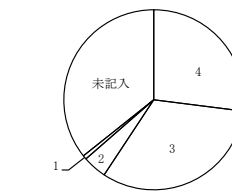
⑭資料・教材



⑮教科書・参考書



⑯宿題・演習

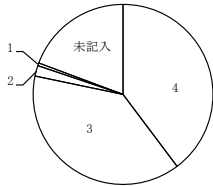


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

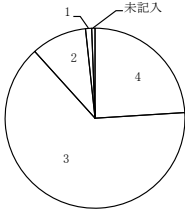
時間割コード：AB0000
授業科目名：全科目合計
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑪この講義の オフィスアワー は利用上適切 に設定されて いますか。	4 適切である	1,013	39.7
	3 ほぼ適切である	982	38.5
	2 あまり適切でない	49	1.9
	1 適切でない	12	0.5
	未記入	493	19.3
⑫講義内容は どの程度理解 したと思います か。	4 よく理解できた	612	24.0
	3 理解できた	1,640	64.3
	2 あまり理解できなかった	255	10.0
	1 全く理解できなかった	27	1.1
	未記入	15	0.6
⑬講義の難易 度は適切でし たか。	4 適切だった	1,003	39.3
	3 概ね適切だった	1,410	55.3
	2 あまり適切でなかった	102	4.0
	1 全く適切でなかった	14	0.5
	未記入	20	0.8
⑭総合的に判 断して、この講 義に満足しまし たか。	4 大変満足した	1,068	41.9
	3 ある程度満足した	1,306	51.2
	2 あまり満足しなかった	129	5.1
	1 全く満足しなかった	28	1.1
	未記入	18	0.7

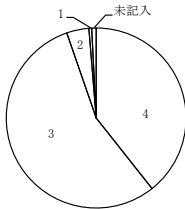
⑪オフィスアワー



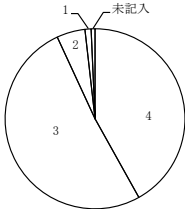
⑫理解



⑬難易度



⑭総合判断

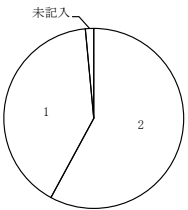


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

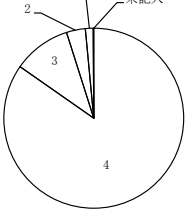
時間割コード：AB0000
授業科目名：全科目合計
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
①いまこの場で 受講している 講義の種類	2 必修	1,078	57.9
	1 選択	756	40.6
	未記入	28	1.5
②この講義に どの程度出席 しましたか。	4 90%以上	1,578	84.7
	3 80-90%	193	10.4
	2 70-80%	64	3.4
	1 70%以下	26	1.4
	未記入	1	0.1
③出席率等から、この授業を 評価する資格 があると思いま すか。	4 充分ある	1,317	70.7
	3 一応ある	468	25.1
	2 あまりない	62	3.3
	1 全くない	14	0.8
	未記入	1	0.1
④この講義に ついて予習・ 復習をしました か。	4 よくした	294	15.8
	3 した	647	34.7
	2 あまりしなかった	671	36.0
	1 全くしなかった	249	13.4
	未記入	1	0.1

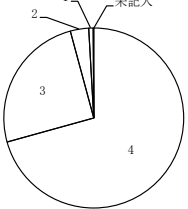
①必修・選択



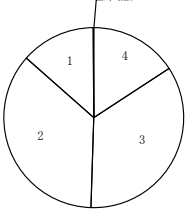
②出席



③評価資格



④予習・復習

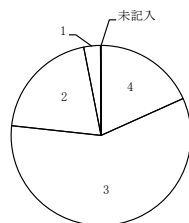


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

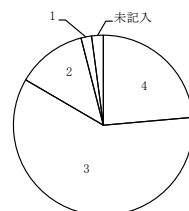
時間割コード：AB0000
授業科目名：全科目合計
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑤この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	341	18.3
	3 熱心に取り組んだ	1,089	58.5
	2 あまり熱心に取り組まなかった	376	20.2
	1 全く熱心に取り組まなかった	55	3.0
	未記入	1	0.1
⑥授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4 大いに有用だった	440	23.6
	3 有用だった	1,113	59.8
	2 あまり有用でなかった	234	12.6
	1 有用でなかった	36	1.9
	未記入	39	2.1
⑦授業概要（シラバス）にそって授業が行われていましたか。	4 行われていた	653	35.1
	3 だいたい行われていた	1,060	56.9
	2 あまり行われていなかった	90	4.8
	1 全く行われていなかった	19	1.0
	未記入	40	2.1
⑧内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	4 よくされていた	781	41.9
	3 されていた	928	49.8
	2 あまりされていなかった	133	7.1
	1 極めて不十分だった	17	0.9
	未記入	3	0.2

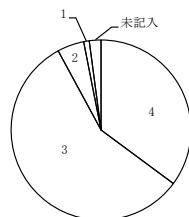
⑤取組み



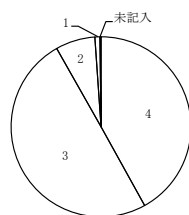
⑥シラバスの有用性



⑦シラバスとの整合性



⑧整理・準備

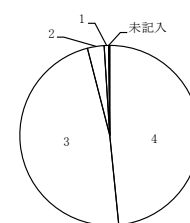


東北大学農学部 of 講義に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

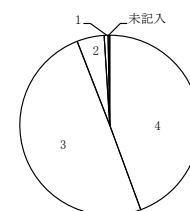
時間割コード：AB0000
授業科目名：全科目合計
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑨講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	902	48.4
	3 感じた	887	47.6
	2 あまり感じなかった	55	3.0
	1 全く感じなかった	14	0.8
	未記入	4	0.2
⑩講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	827	44.4
	3 概ね適切だった	926	49.7
	2 あまり適切でなかった	91	4.9
	1 全く適切でなかった	13	0.7
	未記入	5	0.3
⑪説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	823	44.2
	3 聞き取れた	833	44.7
	2 聞き取りにくかった	177	9.5
	1 聞き取れなかった	21	1.1
	未記入	8	0.4
⑫板書等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	622	33.4
	3 読み易かった	929	49.9
	2 読みにくかった	217	11.7
	1 非常に読みにくかった	33	1.8
	未記入	61	3.3

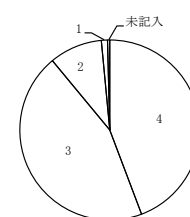
⑨熱意



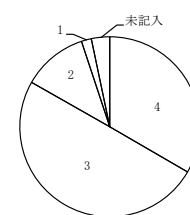
⑩講義速度



⑪説明



⑫板書

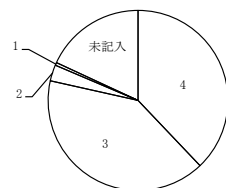


東北大学農学部の評議に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

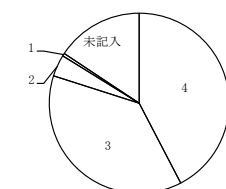
時間割コード : AB0000
授業科目名 : 全科目合計
担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑬視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	706	37.9
	3 役立った	756	40.6
	2 あまり役立たなかった	54	2.9
	1 全く役立たなかった	9	0.5
	未記入	337	18.1
⑭資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	789	42.4
	3 役立った	700	37.6
	2 あまり役立たなかった	72	3.9
	1 全く役立たなかった	9	0.5
	未記入	292	15.7
⑮教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。	4 大いに役立った	457	24.5
	3 役立った	520	27.9
	2 あまり役立たなかった	102	5.5
	1 全く役立たなかった	10	0.5
	未記入	773	41.5
⑯宿題（レポートを含む）や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4 大いに役立った	507	27.2
	3 役立った	611	32.8
	2 あまり役立たなかった	66	3.5
	1 全く役立たなかった	14	0.8
	未記入	664	35.7

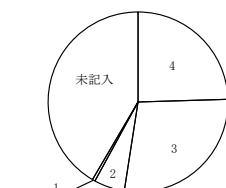
⑬視聴覚・情報機器



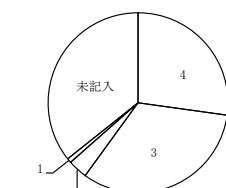
⑭資料・教材



⑮教科書・参考書



⑯宿題・演習

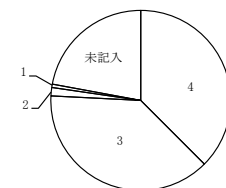


東北大学農学部の評議に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

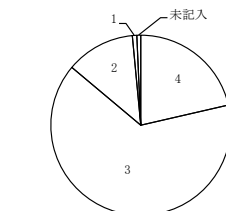
時間割コード : AB0000
授業科目名 : 全科目合計
担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑰この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4 適切である	698	37.5
	3 ほぼ適切である	713	38.3
	2 あまり適切でない	28	1.5
	1 適切でない	11	0.6
	未記入	412	22.1
⑱講義内容は何の程度理解したと思いますか。	4 よく理解できた	398	21.4
	3 理解できた	1,205	64.7
	2 あまり理解できなかった	231	12.4
	1 全く理解できなかった	15	0.8
	未記入	13	0.7
⑲講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	667	35.8
	3 概ね適切だった	1,046	56.2
	2 あまり適切でなかった	119	6.4
	1 全く適切でなかった	15	0.8
	未記入	15	0.8
⑳総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	691	37.1
	3 ある程度満足した	1,004	53.9
	2 あまり満足しなかった	130	7.0
	1 全く満足しなかった	24	1.3
	未記入	13	0.7

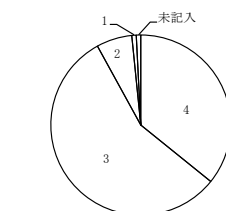
⑰オフィスアワー



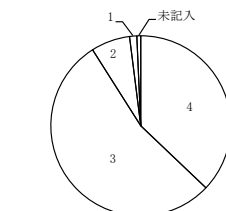
⑱理解



⑲難易度



⑳総合判断

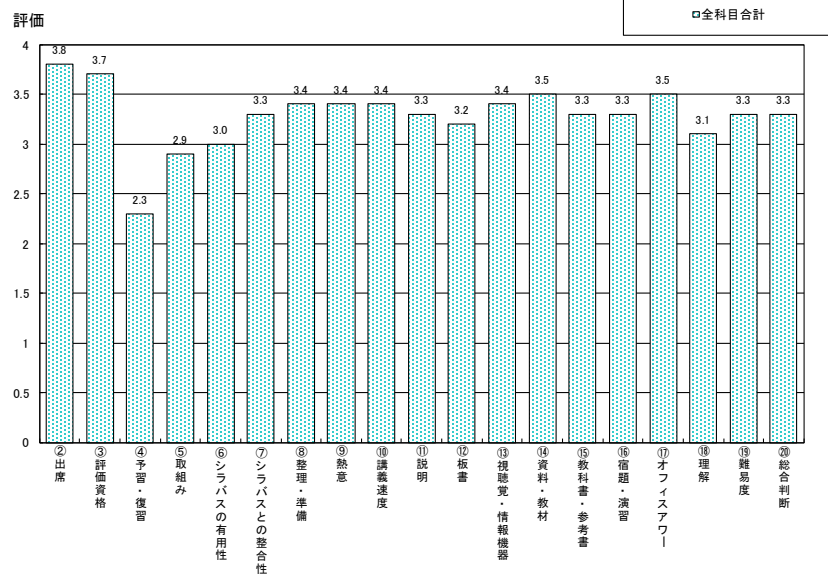
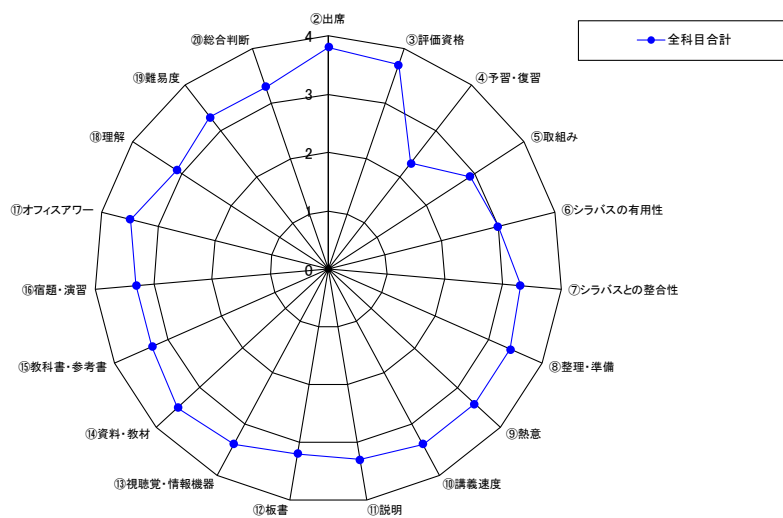


○全科目の集計結果と集計表

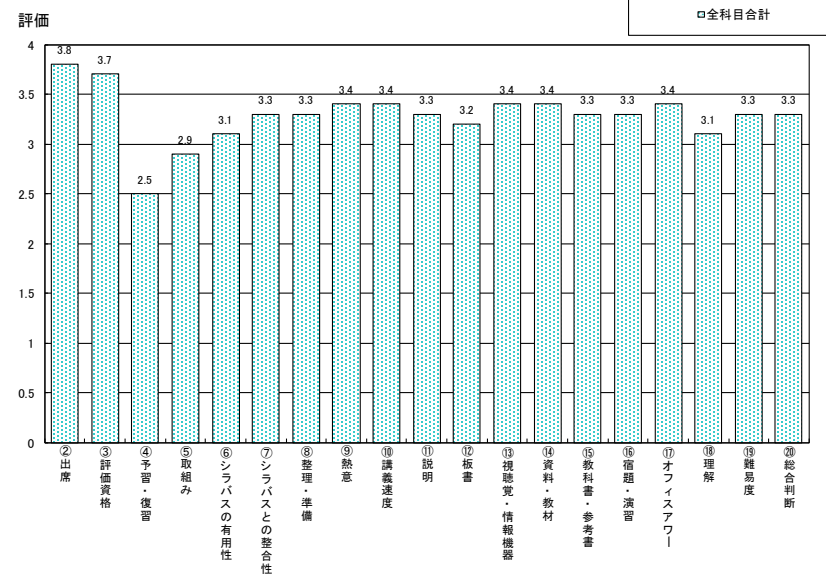
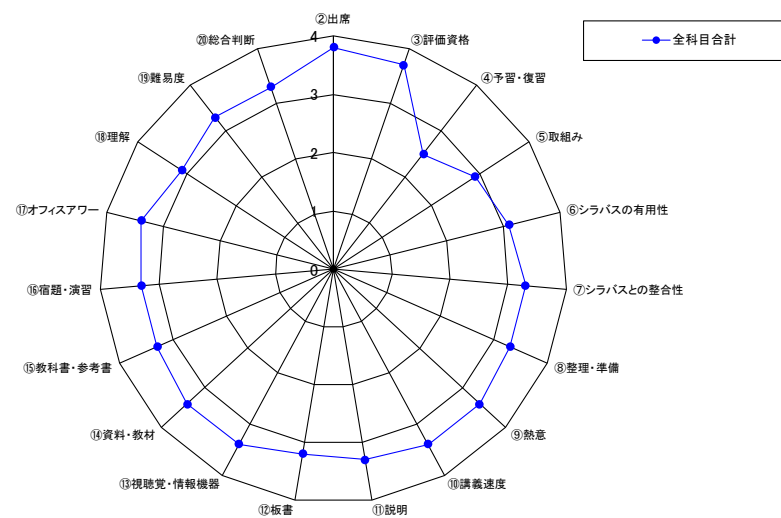
各設問に対する 4 段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。ただし、設問①は除いた。出席割合を示す設問②はすべての設問の中で最も点数が高く 1、2 学期とも 3.8 であった。これと同じもしくはほぼ同程度に高かったのは設問③の評価資格で 1、2 学期とも 3.7 であった。1、2 学期とも比較的高い点数と思われる 3.4～3.5 となっていたのは、⑨熱意、⑩講義速度、⑬視聴覚・情報機器、⑭資料・教材、⑰オフィスアワーであり、昨年度と比べると 1 項目の減少であった。

低い評価点数である 2.5 以下の設問としては、1、2 学期を通じて④予習復習が上げられ 2.3～2.5 と最も低かった。次いで低い評価として点数が 3.0 未満のものは、1、2 学期を通じて⑤取組みであった。その他の設問では⑥シラバスの有用性、⑫板書、⑱理解が他の項目とくらべると低めであった。これらの項目は昨年度と同じであり、引き続き改善が必要である。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成30年1学期)
全科目合計



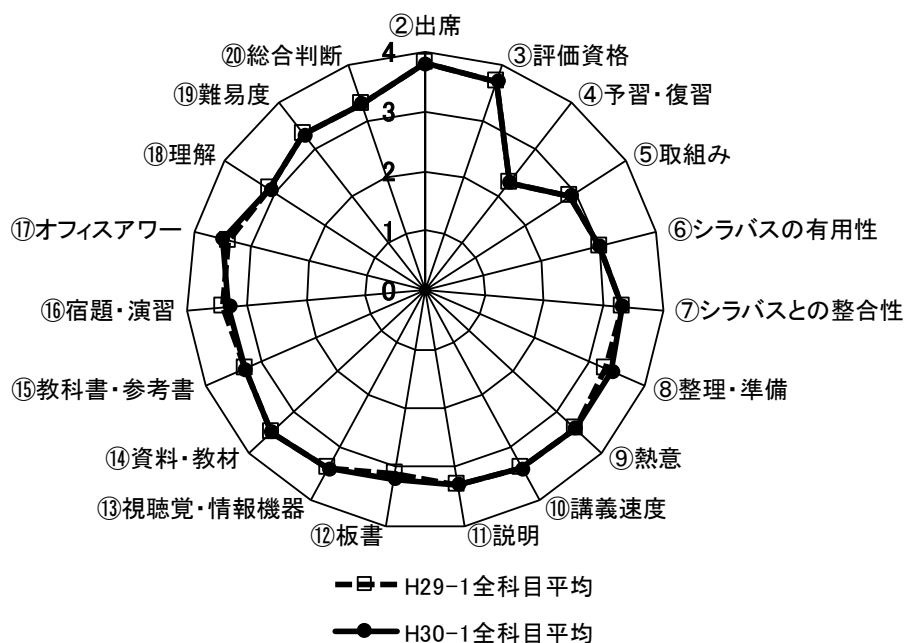
東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成30年2学期)
全科目合計



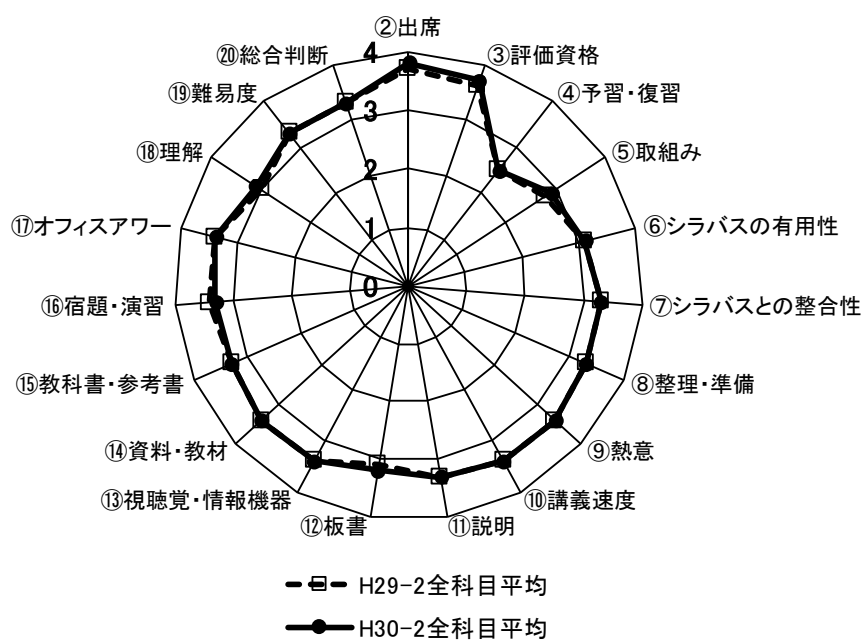
○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成 29 年度実施)と同じである。1 学期、2 学期とも前回と大きな変化はないようである。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. アンケートの集計結果の分析（実験・実習）

集計結果は、実験・実習全科目の以下の各質問事項において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①：実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。

設問②：各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていたか。

設問③：テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。

設問④：実験機器・設備は十分でしたか。

設問⑤：実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。

設問⑥：劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていたか。

設問⑦：実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。

設問⑧：教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑨：TA 等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑩：機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。

設問⑪：レポート課題は適切に選択されていたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。

設問⑫：データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。

設問⑬：実験の時間配分は適切でしたか。

設問⑭：この実験科目にあなたは満足できましたか。

設問⑯：この実験に何回欠席しましたか。

設問⑰：この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。

設問⑱：実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①、②：実験・実習の意義・内容の理解および各実験項目に対する配慮を問う設問である。93%以上の学生が、各実験・実習の意義や目的がシラバスや実際の実験を通して理解でき、各実験項目と講義との関係や実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じているようである。

設問③～⑤：テキストや実験機器・設備とその維持状況を問う設問である。テキストに関しては、両学期ともに 95%の学生がおおよそ適切あるいは十分と考えていた。実験機器・整備に関しても十分だったとする割合は 90%以上と高かったが、不十分とする学生の割合も 1 学期で 10%、2 学期で 6%と一定数みられた。機器管理に関してはほとんどの学生が適切に管理されていると考えている。

設問⑥、⑦：実験の安全管理面や後処理指示の適切さを問う設問である。劇毒物等の管理が配慮されていたとする学生は 1 学期は 91%、2 学期は 96%であった。1 学期は未記入が 8%と多かったことから、劇毒物等の扱いがなかったか、認識が不十分であったかのいずれかと考えられる。後処理については両

学期とも 95%を超える学生がほぼ適切であったと感じている。

設問⑧～⑩:担当スタッフや TA の指導状況を問う設問である。95%を超える学生が教員・技術職員が実験の指導に十分な時間を費やし、指導もきめ細やかだったと感じている。TA の指導が十分だったとする学生は 1 学期は 96%であったが、2 学期は 84%であった。2 学期は未記入が 11%であったことから、TA が配置されなかったか、TA の作業が十分理解されていなかった可能性がある。また、実験操作技術への教育は 95～98%の学生が概ね十分であると評価している。

設問⑪、⑫:レポート課題に関する設問である。両学期とも約 95%の学生が、レポート課題が適切であり、内容の理解や考える力を養うに十分なものであり、データ整理から書き方にいたるまでの指導も十分であると感じている。

設問⑬、⑭:実験科目の時間配分や実験に対する満足度を問う設問である。92～93%の学生が時間配分は適切であると感じている。また、1 学期は 98%、2 学期は 95%の学生が実験科目に満足を感じていた。

設問⑯～⑲:出席、予習・復習、集中度を問う設問である。1 学期 98%、2 学期 92%の学生が欠席なしまたは1回欠席と回答しており、出席率は講義に比べて非常に高い。しかし、予習・復習をしなかった学生が約 15%いた。一方で、1 学期は 94%、2 学期は 91%の学生が実験・実習に集中できたと感じている。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 90%以上の学生が、意義や目的を理解しており、実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じていた。
- ② テキスト、実験機器の管理や安全管理が適切であったとする学生が 90%以上であった。
- ③ 教員・技術職員による指導が十分であったと 95%以上の学生が感じていた。
- ④ 実験に対して満足を感じている学生が 95%以上であった。

【改善を要する点】

- ① 実験機器や設備が不十分と感じている学生は 6～10%であった。予算に応じて適宜整備すべきであろう。
- ② レポートの指導および実験の時間配分が適切でないとする学生の割合は高くはなかったが、一定数みられた(5%程度)。
- ③ 予習・復習をまったくしない学生の割合が 15%程度であり、改善の余地がある。

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

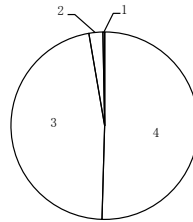
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

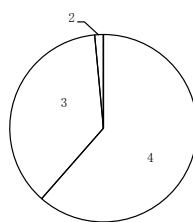
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。	4 よく理解できた	293	50.4
	3 ある程度理解できた	272	46.8
	2 あまり理解できなかった	14	2.4
	1 全く理解できなかった	2	0.3
	未記入	0	0.0
2. 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていたか。	4 十分配慮されていた	357	61.4
	3 ある程度配慮されていた	215	37.0
	2 あまり配慮されていなかった	9	1.5
	1 全く配慮されていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
3. テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。	4 適切であった	324	55.8
	3 概ね適切であった	229	39.4
	2 あまり適切でなかった	23	4.0
	1 全く適切でなかった	3	0.5
	未記入	2	0.3
4. 実験機器・設備は十分でしたか。	4 十分だった	326	56.1
	3 概ね十分だった	195	33.6
	2 多少不十分だった	52	9.0
	1 不十分だった	8	1.4
	未記入	0	0.0

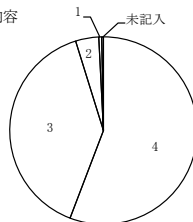
1. 理解度



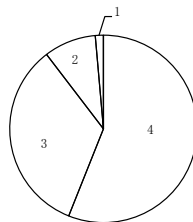
2. 実験項目



3. テキスト内容



4. 実験設備



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

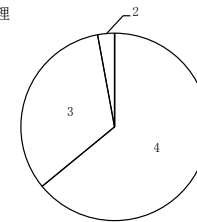
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

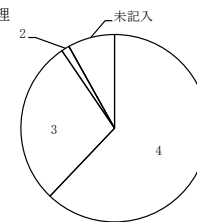
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切にされていましたか。	4 適切に管理されていた	372	64.0
	3 概ね適切に管理されていた	192	33.0
	2 あまり管理されていなかった	17	2.9
	1 全く管理されていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
6. 劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。	4 十分配慮されていた	361	62.1
	3 ある程度配慮されていた	165	28.4
	2 あまり配慮されていなかった	8	1.4
	1 全く配慮されていなかった	0	0.0
	未記入	47	8.1
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。	4 適切であった	399	68.7
	3 概ね適切であった	170	29.3
	2 あまり適切でなかった	2	0.3
	1 全く適切でなかった	1	0.2
	未記入	9	1.5
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	393	67.6
	3 概ね十分だった	171	29.4
	2 多少不十分だった	17	2.9
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0

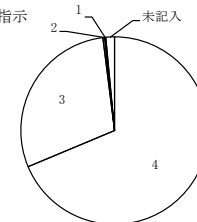
5. 機器管理



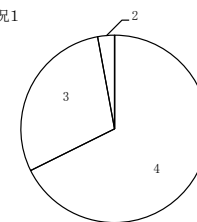
6. 安全管理



7. 後処理指示



8. 指導状況1



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

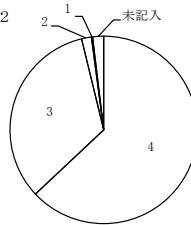
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

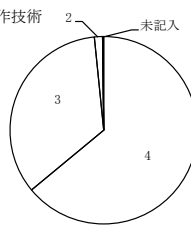
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	366	63.0
	3 概ね十分だった	193	33.2
	2 多少不十分だった	10	1.7
	1 不十分だった	1	0.2
	未記入	11	1.9
10. 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。	4 十分だった	372	64.0
	3 概ね十分だった	200	34.4
	2 多少不十分だった	8	1.4
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	1	0.2
11. レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。	4 大いに役立った	281	48.4
	3 ある程度役立った	276	47.5
	2 あまり役立たなかった	13	2.2
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	11	1.9
12. データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。	4 十分あった	316	54.4
	3 概ね十分あった	231	39.8
	2 多少不十分だった	29	5.0
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	5	0.9

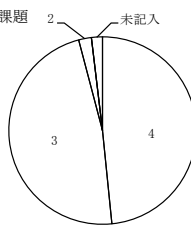
9. 指導状況2



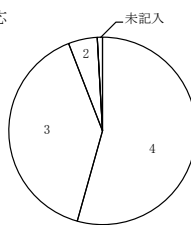
10. 実験操作技術



11. レポート課題



12. 学生対応



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

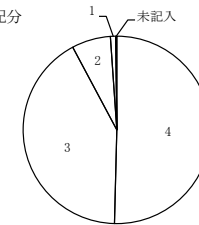
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

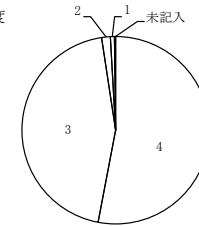
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 実験の時間配分は適切でしたか。	4 適切であった	293	50.4
	3 概ね適切であった	243	41.8
	2 あまり適切でなかった	39	6.7
	1 全く適切でなかった	5	0.9
	未記入	1	0.2
14. この実験科目にあなたは満足できましたか。	4 大いに満足した	308	53.0
	3 ある程度満足した	259	44.6
	2 あまり満足しなかった	9	1.5
	1 全く満足しなかった	4	0.7
	未記入	1	0.2
16. この実験に何回欠席しましたか。	4 欠席しなかった	536	92.3
	3 1回欠席	30	5.2
	2 2回欠席	4	0.7
	1 3回以上欠席	4	0.7
	未記入	7	1.2
17. この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらか。	4 3時間以上	133	22.9
	3 2時間以上～3時間未満	92	15.8
	2 2時間未満	258	44.4
	1 しなかった	88	15.1
	未記入	10	1.7

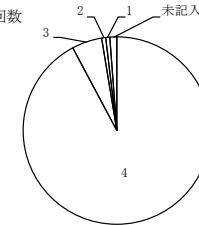
13. 時間配分



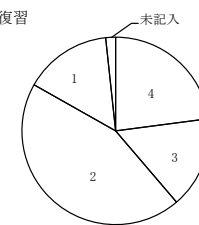
14. 満足度



16. 出席回数



17. 予習・復習



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

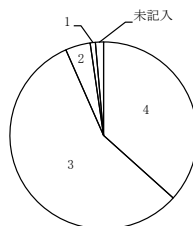
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
18. 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。	4 大いに集中できた	213	36.7
	3 ある程度集中できた	330	56.8
	2 あまり集中できなかった	25	4.3
	1 全く集中できなかった	5	0.9
	未記入	8	1.4

18. 集中度



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

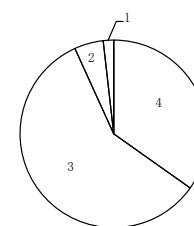
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

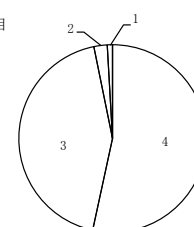
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。	4 よく理解できた	77	34.8
	3 ある程度理解できた	129	58.4
	2 あまり理解できなかった	11	5.0
	1 全く理解できなかった	4	1.8
	未記入	0	0.0
2. 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていたか。	4 十分配慮されていた	118	53.4
	3 ある程度配慮されていた	96	43.4
	2 あまり配慮されていなかった	5	2.3
	1 全く配慮されていなかった	2	0.9
	未記入	0	0.0
3. テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。	4 適切であった	102	46.2
	3 概ね適切であった	108	48.9
	2 あまり適切でなかった	9	4.1
	1 全く適切でなかった	2	0.9
	未記入	0	0.0
4. 実験機器・設備は十分でしたか。	4 十分だった	115	52.0
	3 概ね十分だった	93	42.1
	2 多少不十分だった	13	5.9
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0

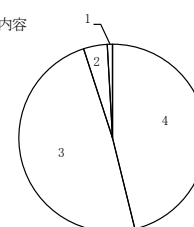
1.理解度



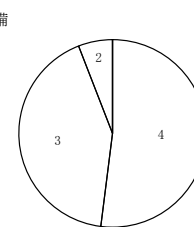
2. 実験項目



3. テキスト内容



4. 実験設備



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

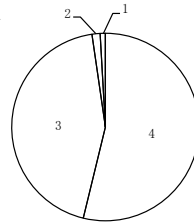
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

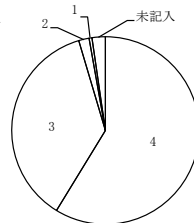
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切にされていましたか。	4 適切に管理されていた	119	53.8
	3 概ね適切に管理されていた	97	43.9
	2 あまり管理されていなかった	3	1.4
	1 全く管理されていなかった	2	0.9
	未記入	0	0.0
6. 劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。	4 十分配慮されていた	130	58.8
	3 ある程度配慮されていた	81	36.7
	2 あまり配慮されていなかった	4	1.8
	1 全く配慮されていなかった	1	0.5
	未記入	5	2.3
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。	4 適切であった	127	57.5
	3 概ね適切であった	86	38.9
	2 あまり適切でなかった	5	2.3
	1 全く適切でなかった	2	0.9
	未記入	1	0.5
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	129	58.4
	3 概ね十分だった	82	37.1
	2 多少不十分だった	8	3.6
	1 不十分だった	2	0.9
	未記入	0	0.0

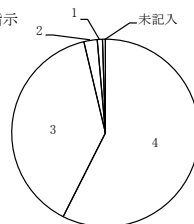
5. 機器管理



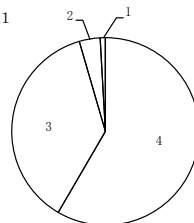
6. 安全管理



7. 後処理指示



8. 指導状況1



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

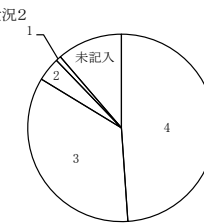
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

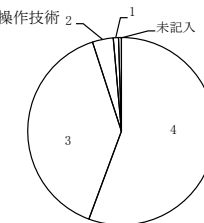
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	108	48.9
	3 概ね十分だった	77	34.8
	2 多少不十分だった	9	4.1
	1 不十分だった	2	0.9
	未記入	25	11.3
10. 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。	4 十分だった	123	55.7
	3 概ね十分だった	87	39.4
	2 多少不十分だった	8	3.6
	1 不十分だった	2	0.9
	未記入	1	0.5
11. レポート課題は適切に選択されていたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものになっていましたか。	4 大いに役立った	99	44.8
	3 ある程度役立った	111	50.2
	2 あまり役立たなかった	5	2.3
	1 全く役立たなかった	3	1.4
	未記入	3	1.4
12. データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。	4 十分あった	100	45.2
	3 概ね十分あった	107	48.4
	2 多少不十分だった	12	5.4
	1 不十分だった	2	0.9
	未記入	0	0.0

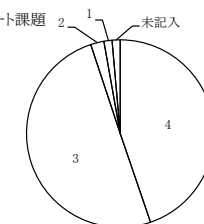
9. 指導状況2



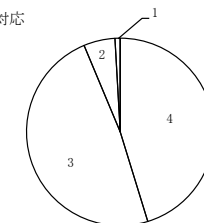
10. 実験操作技術



11. レポート課題



12. 学生対応



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

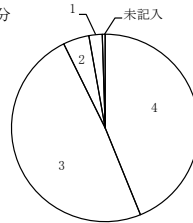
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

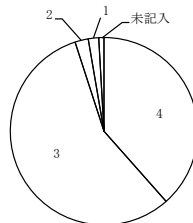
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 実験の時間配分は適切でしたか。	4 適切であった	97	43.9
	3 概ね適切であった	108	48.9
	2 あまり適切でなかった	10	4.5
	1 全く適切でなかった	5	2.3
	未記入	1	0.5
14. この実験科目にあなたは満足できましたか。	4 大いに満足した	85	38.5
	3 ある程度満足した	125	56.6
	2 あまり満足しなかった	5	2.3
	1 全く満足しなかった	4	1.8
	未記入	2	0.9
16. この実験に何回欠席しましたか。	4 欠席しなかった	182	82.4
	3 1回欠席	21	9.5
	2 2回欠席	9	4.1
	1 3回以上欠席	6	2.7
	未記入	3	1.4
17. この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらか。	4 3時間以上	54	24.4
	3 2時間以上～3時間未満	28	12.7
	2 2時間未満	99	44.8
	1 しなかった	36	16.3
	未記入	4	1.8

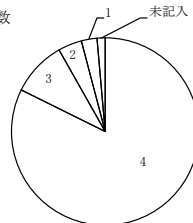
13. 時間配分



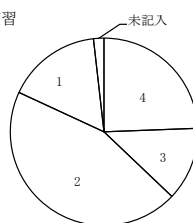
14. 満足度



16. 出席回数



17. 予習・復習



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

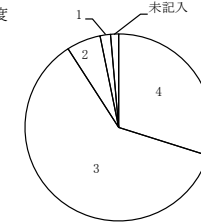
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
18. 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。	4 大いに集中できた	66	29.9
	3 ある程度集中できた	135	61.1
	2 あまり集中できなかった	13	5.9
	1 全く集中できなかった	4	1.8
	未記入	3	1.4

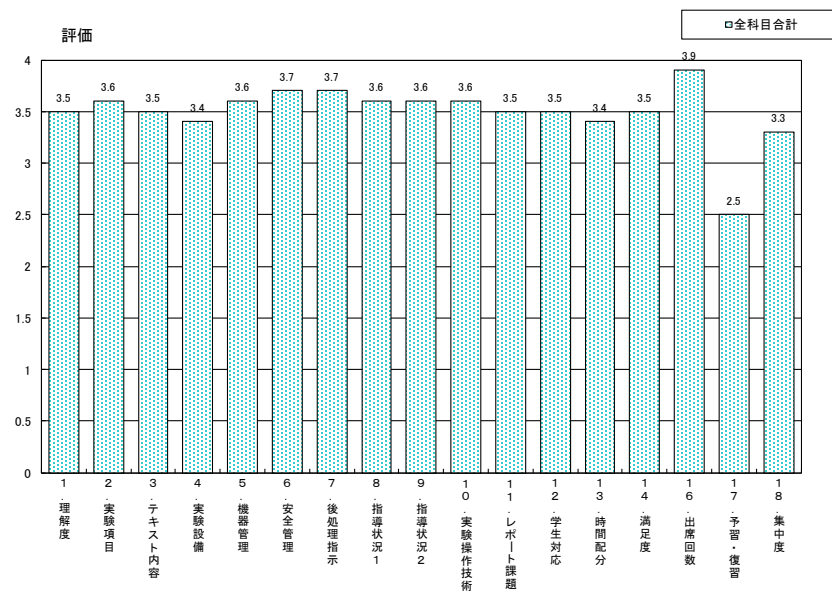
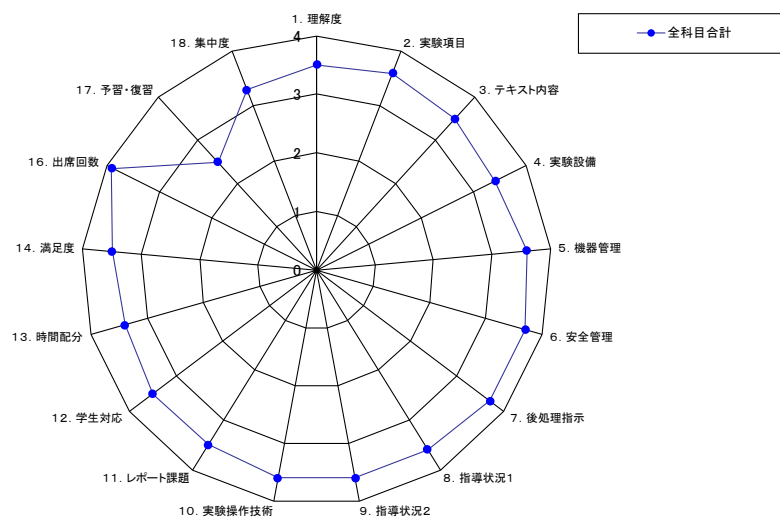
18. 集中度



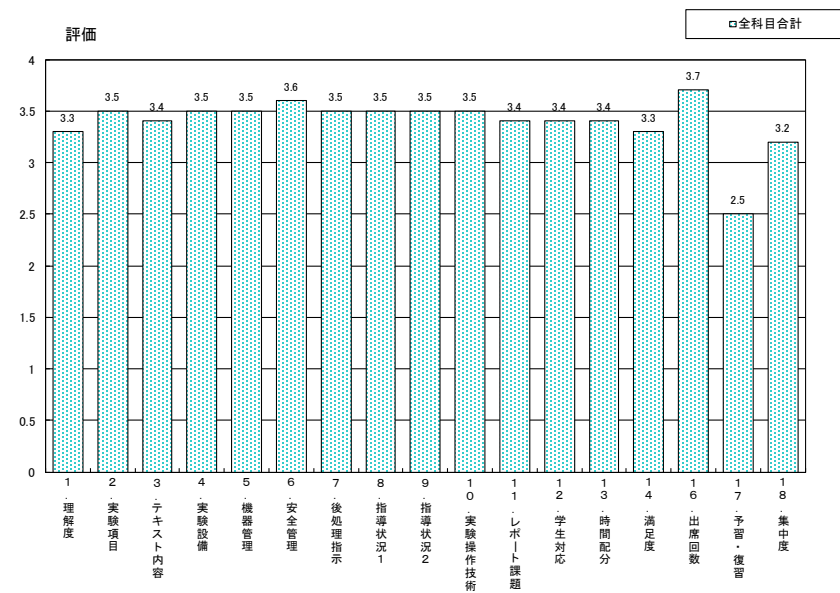
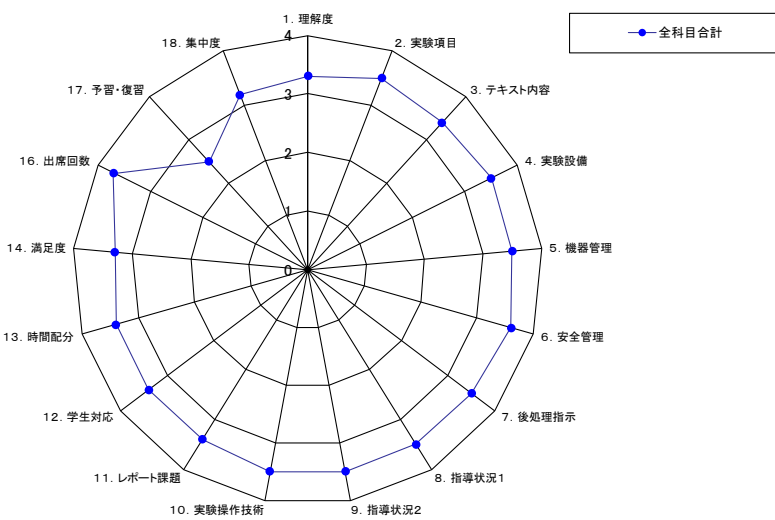
○実験・実習全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の実験・実習全科目の平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席回数を示す設問⑩はすべての設問の中で最も点数が高く3.7～3.9であった。1、2学期とも高いと思われる3.5を超える点数であったのは⑥安全管理であった。一方、平均点より大幅に低かった設問は⑰予習・復習だけであり、1学期、2学期ともに2.5であった。その他の項目は3.3～3.5と概ね高評価であったが、2学期の⑱集中度は3.2とやや低く、慣れによる集中度の低下が懸念される。

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成30年1学期)
全科目合計



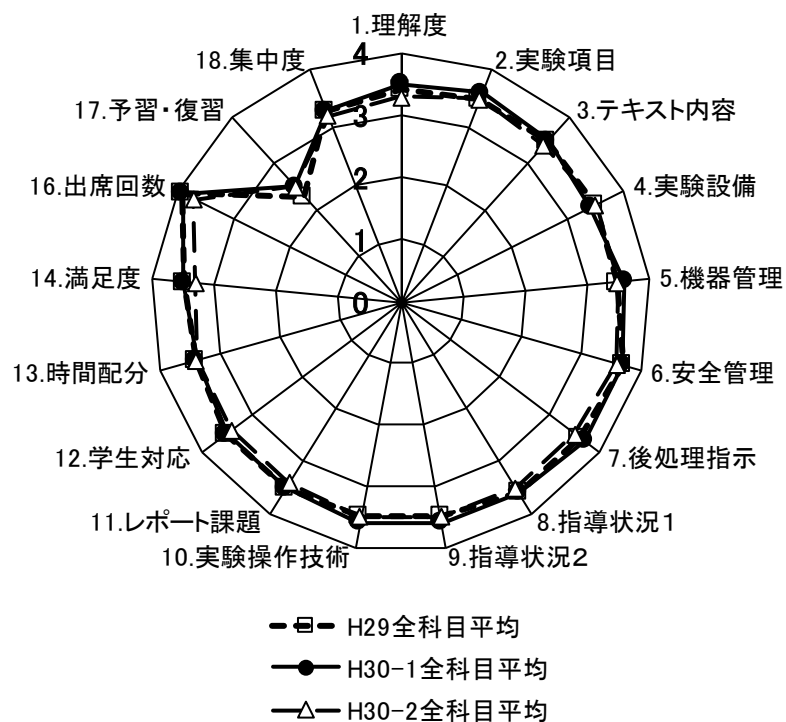
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(平成30年2学期)
全科目合計



○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成 29 年度実施)と同じである。1学期と2学期ともに前回の通年での回答と比べて大きな変化はないようである。

前回の実験・実習全科目との比較



4. 参考資料

- 1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙(平成 30 年度)
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙(平成 30 年度)
- 2) 授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(平成 29 年度)
- 3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について

質問用紙 1(マークシート)

コース 学年 氏名 切り取り線

講義名

東北大学農学部 講義に関するアンケート

このアンケートは農学部 講義の改善に学生諸君の意見を生かそうとするものです。率直かつ真摯な回答を期待します。
質問について、該当すると思われる項目の番号を口に入力してください。また、記述質問について、あなたの意見を自由に書いてください。
なお、このアンケートへの回答が記入者の不利益とならないよう、用紙が教務係へ提出されたのち、氏名欄を切り離して集計します。
また、質問に対する回答は集計後に教員へ開示されます。

① いまこの場で受講している講義の種類	必修	選択	記入欄	
② この講義にどの程度出席しましたか。	90%以上 4	80-90% 3	70-80% 2	70%以下 1
③ 出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。	充分ある 4	一応ある 3	あまりない 2	全くない 1
④ この講義について予習・復習をしましたか。	よくした 4	した 3	あまりしなかった 2	全くしなかった 1
⑤ この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	極めて熱心に取り組んだ 4	熱心に取り組んだ 3	あまり熱心に取り組まなかった 2	全く熱心に取り組まなかった 1
⑥ 授業概要(シラバス)は有用でしたか。	大いに有用だった 4	有用だった 3	あまり有用でなかった 2	有用でなかった 1
⑦ 授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。	行われていた 4	だいたい行われていた 3	あまり行われていなかった 2	全く行われていなかった 1
⑧ 内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	よくされていた 4	されていた 3	あまり行われていなかった 2	極めて不十分だった 1
⑨ 講義について教員の熱意を感じましたか。	大いに感じた 4	感じた 3	あまり感じなかった 2	全く感じなかった 1
⑩ 講義を進める速度は適切でしたか。 (適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)	適切だった 4	概ね適切だった 3	あまり適切でなかった 2	全く適切でなかった 1
⑪ 説明は良く聞き取れましたか。	よく聞き取れた 4	聞き取れた 3	聞き取りにくかった 2	聞き取れなかった 1
⑫ 板書等の文字は、読み易かったですか。	大変読み易かった 4	読み易かった 3	読みにくかった 2	非常に読みにくかった 1
⑬ 現像機・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。 (利用されなかった場合、記入は不要です。)	大いに役立った 4	役立った 3	あまり役立たなかった 2	全く役立たなかった 1
⑭ 資料の配布や教材の使用・視覚実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。 (ない場合は、記入は不要です。)	大いに役立った 4	役立った 3	あまり役立たなかった 2	全く役立たなかった 1
⑮ 教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。 (紹介されなかった場合、記入は不要です。)	大いに役立った 4	役立った 3	あまり役立たなかった 2	全く役立たなかった 1
⑯ 宿題(レポートを含む)や復習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。 (課されなかった場合、記入は不要です。)	大いに役立った 4	役立った 3	あまり役立たなかった 2	全く役立たなかった 1
⑰ この講義のオフィスアワーは利用し適切に設定されていますか。 (適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)	適切である 4	ほぼ適切である 3	あまり適切でない 2	適切でない 1
⑱ 講義内容はどの程度理解したと思いますか。	よく理解できた 4	理解できた 3	あまり理解できなかった 2	全く理解できなかった 1
⑲ 講義の難易度は適切でしたか。 (適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)	適切だった 4	概ね適切だった 3	あまり適切でなかった 2	全く適切でなかった 1
⑳ 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	大変満足した 4	ある程度満足した 3	あまり満足しなかった 2	全く満足しなかった 1

[記述欄]この講義に関して、「よい点」と「改善すべき点」に分けて自由に書いて下さい。用紙が不足の場合は裏面を利用して下さい。

・よい点

・改善すべき点

質問用紙

コース 学年 氏名 切り取り線

講義名

東北大学農学部 実験・実習に関するアンケート

このアンケートは農学部 実験・実習の改善に学生諸君の意見を生かそうとするものです。率直かつ真摯な回答を期待します。
回答は該当する番号を記入欄に入力して下さい。また、記述質問について、あなたの意見を自由に書いてください。
なお、このアンケートへの回答が記入者の不利益とならないよう、集計は氏名欄を切り離して行います。
また、質問に対する回答は集計後に教員へ開示されます。

I 実験に関する質問

1. 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実験の実験を通してよく理解できましたか。 (4:よく理解できた, 3:ある程度理解できた, 2:あまり理解できなかった, 1:全く理解できなかった)
2. 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。 (4:十分配慮されていた, 3:ある程度配慮されていた, 2:あまり配慮されていなかった, 1:全く配慮されていなかった)
3. テキストは学習効果を上げるために適切なものとなりましたか。 (4:適切であった, 3:概ね適切であった, 2:あまり適切でなかった, 1:全く適切でなかった)
4. 実験機器・設備は十分でしたか。 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切にされていましたか。 (4:適切に管理されていた, 3:概ね適切に管理されていた, 2:あまり管理されていなかった, 1:全く管理されていなかった)
6. 新薬物・病原菌・生体・電気・機械等・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。 (危険物等がない場合、記入は不要です。) (4:十分配慮されていた, 3:ある程度配慮されていた, 2:あまり配慮されていなかった, 1:全く配慮されていなかった)
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。 (4:適切であった, 3:概ね適切であった, 2:あまり適切でなかった, 1:全く適切でなかった)
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)
9. TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)
10. 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)
11. レポート課題は適切に選択されていますか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなりましたか。 (4:大いに役立った, 3:ある程度役立った, 2:あまり役立たなかった, 1:全く役立たなかった)
12. データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。 (4:十分あった, 3:概ね十分あった, 2:多少不十分あった, 1:不十分あった)
13. 実験の時間配分は適切でしたか。 (4:適切であった, 3:概ね適切であった, 2:あまり適切でなかった, 1:全く適切でなかった)
14. この実験科目にあなたは満足できましたか。 (4:大いに満足した, 3:ある程度満足した, 2:あまり満足しなかった, 1:全く満足しなかった)

[記述欄]実験に関して「よい点」と「改善すべき点」に分けて自由に書いて下さい。用紙が不足の場合は裏面を利用して下さい。
・よい点

・改善すべき点

II あなたの実験への取り組み

16. この実験に何回欠席しましたか。 (4:欠席しなかった, 3:1回欠席, 2:2回欠席, 1:3回以上欠席)
17. この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。 (4:3時間以上, 3:2時間以上～3時間未満, 2:2時間未満, 1:1時間未満)
18. 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。 (4:大いに集中できた, 3:ある程度集中できた, 2:あまり集中できなかった, 1:全く集中できなかった)

東北大学農学部に関するアンケート集計結果(平成30年度1学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	2,549	3,075	82.9%
AB1101	資源有機化学	108	160	67.5%
AB1111	昆虫生理生態学	24	25	96.0%
AB1112	地域環境システム論	9	10	90.0%
AB1113	動物栄養化学	30	35	85.7%
AB1114	生物海洋学	34	37	91.9%
AB1115	食品衛生化学	62	91	68.1%
AB1121	植物発生生理学	30	30	100.0%
AB1122	水産遺伝育種学	30	30	100.0%
AB1131	食用作物学	37	41	90.2%
AB1132	草地科学	28	32	87.5%
AB1134	栄養生理学	41	59	69.5%
AB1141	遺伝育種学	18	19	94.7%
AB1151	動物資源開発学	21	21	100.0%
AB1202	動物生殖科学	28	32	87.5%
AB1204	植物栄養生理学	27	37	73.0%
AB1211	開発経済学	11	16	68.8%
AB1212	動物微生物科学	30	31	96.8%
AB1213	水圏植物生態学	38	43	88.4%
AB1214	微生物生化学	46	51	90.2%
AB1215	科学英語講読Ⅰ	28	29	96.6%
AB1301	生物化学	90	132	68.2%
AB1311	広域資源調査学	12	16	75.0%
AB1312	動物機能形態学	22	28	78.6%
AB1313	遺伝資源学	34	36	94.4%
AB1314	生命工学	25	51	49.0%
AB1321	栽培植物環境科学	26	30	86.7%
AB1322	環境経済学	11	12	91.7%
AB1324	家畜人工授精論	23	28	82.1%
AB1325	海洋生物工学	31	33	93.9%
AB1326	食品タンパク質化学	27	29	93.1%
AB1331	アグリビジネス論	32	37	86.5%
AB1332	酵素化学	80	83	96.4%
AB1401	動物生理科学	31	31	100.0%
AB1402	資源生物生理学(海洋系)	34	37	91.9%
AB1403	分析有機化学	40	53	75.5%
AB1405	植物感染応答学	28	29	96.6%
AB1411	植物育種学各論	23	24	95.8%
AB1412	ミルク科学	48	64	75.0%
AB1413	水圏植物学	28	32	87.5%
AB1414	生命有機化学	27	29	93.1%
AB1415	農業経済政策学	13	16	81.3%
AB1421	科学英語講読Ⅰ	9	12	75.0%
AB1422	科学英語講読Ⅰ	25	27	92.6%
AB1441	生物生産情報処理概論	22	36	61.1%
AB1442	入門演習	8	10	80.0%
AB1451	科学英語講読Ⅰ	28	29	96.6%
AB1501	農学と社会・環境・倫理	146	154	94.8%
AB1502	分析化学	88	120	73.3%
AB1503	経営学	10	11	90.9%
AB1511	果樹園芸学	20	20	100.0%
AB1513	環境システム生物学	25	31	80.6%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB1514	水産利用学	27	36	75.0%
AB1515	生物制御化学	24	39	61.5%
AB1521	生理・生態学概論	88	156	56.4%
AB1523	物理化学	78	98	79.6%
AB1532	環境と倫理	3	7	42.9%
AB1533	生物統計学	32	37	86.5%
AB1541	現代における農と農学	152	154	98.7%
AB1542	植物遺伝学	29	30	96.7%
AB1543	ミクロ経済学	12	12	100.0%
AB1551	応用土壌学	26	26	100.0%
AB1561	植物生命科学入門	28	28	100.0%
AB1611	陸環境コミュニケーション論	146	152	96.1%
AB1614	フィールド環境学	19	19	100.0%
AB1641	農業政策学特別講義Ⅰ	1	9	11.1%
AB1642	動物寄生体学	13	18	72.2%
AB1643	動物病態学	3	3	100.0%
AB1644	資源環境経済学特別講義Ⅰ	11	12	91.7%
AB2325	機能分子解析学	28	29	96.6%
AB2403	魚類学	27	27	100.0%
AB2522	マクロ経済学	9	13	69.2%
AB2656	農業科教育法Ⅰ	1	1	100.0%
AB2657	農業科教育法Ⅱ	1	1	100.0%
AB2663	復興農学	36	47	76.6%
AB57141	資源環境経済学演習Ⅰ	9	12	75.0%

東北大学農学部実習・実験に関するアンケート集計結果(平成30年度1学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	581	657	88.4%
AB5711102	学生実験(作物学)	28	28	100.0%
AB5711104	学生実験(土壌立地学)	28	30	93.3%
AB5711106	学生実験(環境適応生物工学)	28	30	93.3%
AB5711107	学生実験(生物制御機能学)	26	30	86.7%
AB5711108	学生実験(植物遺伝育種学)	27	30	90.0%
AB5711109	学生実験(植物病理学)	28	30	93.3%
AB5721102	学生実験(動物遺伝育種学)	27	30	90.0%
AB5721103	学生実験(動物生理科学)	28	30	93.3%
AB5721107	学生実験(動物栄養化学)	24	30	80.0%
AB5721109	学生実験(動物資源化学)	26	30	86.7%
AB5731101	学生実験(水圏動物生理学)	29	30	96.7%
AB5731102	学生実験(水圏資源生態学)	28	30	93.3%
AB5731103	学生実験(水圏植物生態学)	27	30	90.0%
AB5731104	学生実験(水産資源化学)	28	30	93.3%
AB5731107	学生実験(海洋生命遺伝情報システム学)	28	30	93.3%
AB5741103	学生実験(分子生物学)	18	30	60.0%
AB5741105	学生実験(応用微生物学)	20	30	66.7%
AB5741106	学生実験(生物有機化学)	23	30	76.7%
AB5751103	学生実験(機能分子解析学)	23	30	76.7%
AB5751105	学生実験(テラヘルツ生物工学)	29	30	96.7%
AB5751109	学生実験(活性分子動態)	29	29	100.0%
AB5751110	学生実験(応用生命分子解析)	29	30	96.7%

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(平成30年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	1,862	2,232	83.4%
AB1203	水産資源生態学	4	31	12.9%
AB1522	政治経済学	9	10	90.0%
AB1562	現代日本農業論	14	15	93.3%
AB1631	科学英語講読Ⅰ	16	31	51.6%
AB1655	科学英語講読Ⅲ	3	3	100.0%
AB2101	基礎土壌学	41	42	97.6%
AB2102	生物有機化学	65	95	68.4%
AB2113	食品組織学	4	6	66.7%
AB2114	科学英語講読Ⅱ	28	29	96.6%
AB2115	育種管理学	14	19	73.7%
AB2121	資源動物生態学(動物系)	9	11	81.8%
AB2122	資源動物生態学(海洋系)	22	32	68.8%
AB2123	植物細胞生化学	45	57	78.9%
AB2131	植物保護学	6	8	75.0%
AB2132	学術情報リテラシー	26	31	83.9%
AB2141	植物系微生物サイエンス	39	46	84.8%
AB2143	食品加工学	73	84	86.9%
AB2151	植物生産科学	35	38	92.1%
AB2153	微生物サイエンス	15	16	93.8%
AB2202	動物遺伝育種学	29	29	100.0%
AB2203	水産増殖学	27	29	93.1%
AB2205	生理活性化学	27	29	93.1%
AB2211	比較農業論	13	15	86.7%
AB2212	食品機能工学	30	30	100.0%
AB2221	バイオインフォマテックス概論	44	59	74.6%
AB2301	野菜園芸学	29	31	93.5%
AB2303	動物生命科学	24	28	85.7%
AB2304	プランクトン学	20	23	87.0%
AB2311	環境・動物福祉学	8	10	80.0%
AB2312	水圏無脊椎動物学	13	28	46.4%
AB2313	科学英語講読Ⅱ	26	28	92.9%
AB2314	環境評価学	9	12	75.0%
AB2321	植物病理学	27	28	96.4%
AB2323	免疫科学	34	44	77.3%
AB2324	水産化学	28	33	84.8%
AB2331	森林生態論	35	36	97.2%
AB2333	生命情報解析学	29	29	100.0%
AB2341	フードシステム論	13	13	100.0%
AB2342	動物組織細胞学	46	48	95.8%
AB2343	植物分子生理学	52	56	92.9%
AB2351	遺伝子工学	85	93	91.4%
AB2352	フィールド生態学入門	35	36	97.2%
AB2401	資源作物学	22	28	78.6%
AB2402	畜産経営学	5	5	100.0%
AB2404	反応生物化学	36	36	100.0%
AB2413	動物食品機能学	46	58	79.3%
AB2421	科学英語講読Ⅱ	10	12	83.3%
AB2422	科学英語講読Ⅱ	23	27	85.2%
AB2461	科学英語講読Ⅱ	23	26	88.5%
AB2501	植物育種学	29	31	93.5%
AB2502	経済統計学	10	12	83.3%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB2504	食品化学	92	123	74.8%
AB2511	観賞園芸学	16	19	84.2%
AB2512	動物発生工学	5	6	83.3%
AB2521	昆虫学	27	29	93.1%
AB2523	栄養化学	87	115	75.7%
AB2534	水産食品管理学	17	19	89.5%
AB2541	分子生物学	108	138	78.3%
AB2551	植物生理学	27	27	100.0%
AB2552	資源生物生理学(動物系)	27	27	100.0%
AB2564	専門科学英語基礎	8	9	88.9%
AB2641	農業政策学特別講義Ⅱ	9	14	64.3%
AB2643	陸水学	24	26	92.3%
AB2644	生物工学特別講義	45	57	78.9%
AB2655	科学英語講読Ⅳ	5	5	100.0%
AB57142	資源環境経済学演習Ⅱ	10	12	83.3%

東北大学農学部実習・実験に関するアンケート集計結果(平成30年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	221	268	82.5%
AB5711103	学生実験(園芸学)	28	30	93.3%
AB5711104	学生実験(土壌立地学)	28	28	100.0%
AB5721105	学生実験(動物生殖科学)	25	30	83.3%
AB5721108	学生実験(動物微生物学)	26	30	86.7%
AB5731108	学生実験(海洋生命遺伝情報システム学)	18	30	60.0%
AB5741101	学生実験(植物細胞生化学)	16	30	53.3%
AB5751104	学生実験(天然物生命化学)	27	30	90.0%
AB5751107	学生実験(生命構造化学)	28	30	93.3%
AB5751108	学生実験(分子情報化学)	25	30	83.3%

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学部学生による授業評価の実施について

平成30年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学部の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について

奇数セメスターに開講される農学部専門教育科目について実施します。

2. 実施方法

授業中に授業担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記入し、授業担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して下さい。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の授業改善の参考となります。

平成30年6月

農 学 部 長

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学部学生による実験・実習評価の実施について

平成30年度に開講される実験・実習について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この実験・実習評価は、農学部の実験・実習と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の実験・実習に対する考えを把握することにより、今後の実験・実習の改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象実験・実習科目について

平成30年度に開講される実験・実習科目について実施します。

2. 実施方法

実験・実習中に担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記入し、担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して下さい。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の実験・実習の改善の参考となります。

平成30年6月

農 学 部 長

平成30年 6月14日

農学部授業担当教員 各位

農学部評価室長

学生による授業評価の実施について(依頼)

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。
つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。

2. 実施日時・方法等

(1) 実施日時について

授業評価の実施は原則として、講義の最終日をお願いします。

(2) 実施方法について

授業を担当している先生方は、授業終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。

(3) 評価用紙の提出について

アンケート用紙の回収は、学生(1名)に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いしています。

(4) 学生への周知について

学生には、授業評価に協力するよう掲示しています。

3. 評価結果の取り扱い

(1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。

(2) アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。

(3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

平成30年 6月14日

農学部実験・実習担当教員 各位

農学部評価室長

学生による実験・実習評価の実施について(依頼)

このことについて、今年度の開講される実験・実習科目について実施します。
つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、必要枚数を複写の上、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象実験・実習科目について

今年度(前期および後期)に開講される実験・実習科目について実施します。

2. 実施日時・方法等

(1) 実施日時について

実験・実習評価の実施は原則として、実験・実習の最終日をお願いします。

(2) 実施方法について

実験・実習を担当している先生方は、実験・実習終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。

(3) 評価用紙の提出について

アンケート用紙の回収は、学生(1名)に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いしています。

(4) 学生への周知について

学生には、実験・実習評価に協力するよう掲示しています。

3. 評価結果の取り扱い

(1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。

(2) アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。

(3) 実験・実習個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価

II. 学生による農学研究科の授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学研究科の授業評価は、博士課程前期 2 年の課程で平成 30 年度 1、2 学期の授業を対象とした。アンケート用紙は選択肢形式の設問 16 項目と自由記述項目からなり、満足度、理解度などを調査する形のものである。

2) 実施方針

- (1) 実施は平成 30 年度に行われた農学研究科の講義を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、平成 30 年 6 月下旬と平成 31 年 1 月に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともにアンケート用紙にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 設問は授業評価のみにしぼり、カリキュラムや施設等に関する設問は設けなかった。全体集計が可能なように各設問に対する回答は 4 段階評価とし、学部講義、実験・実習の評価と統一した様式で実施した。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、平成 30 年 6 月下旬および平成 31 年 1 月の各セメスター終了時の授業時間にアンケート用紙を配布し、回収は学生によって行われた。
- (2) 回収されたアンケート用紙は、学生が封をし、教務係に提出した。
- (3) 教務係では、回収アンケート用紙の学生の氏名部分を切り取り、業者に集計を依頼した。
- (4) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
平成 30 年度 1 学期は 29 科目、2 学期は 14 科目で実施された。また、履修届者数は 1 学期 696 名、2 学期 267 名、アンケート延べ回答者数は 1 学期 585 名で回収率は 84.1%、2 学期 151 名で回収率は 56.6%であった。

2.アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、全科目の各設問において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。

設問②:あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。

設問③:質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。

設問④:講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。

設問⑤:シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。

設問⑥:講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。

設問⑦:あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

設問⑧:視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。

設問⑨:テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。

設問⑩:教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。

設問⑪:理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。

設問⑫:教員は学生に講義への参加(質問、発言、自主的学習など)を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。

設問⑬:この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。

設問⑭:あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。

設問⑮:講義に対する教員の熱意を感じましたか。

設問⑯:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:出席状況を問う設問である。80%以上出席としたものが1学期は98%であったが、2学期は92%となりやや低下していた。

設問②～④:講義の難易度と学生の講義に対する取り組みを問う設問である。1、2学期とも95%以上の学生が講義の難易度をおおむね適切であったとしている。質問や発言による積極的な取り組みをした学生は1学期、2学期とも76%、自主的に学習した学生も1学期は77%、2学期は80%と、両設問において前年度と比べて高い値となっている。

設問⑤、⑥:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスに講義の目的、内容、成績評価基準が適切に示され有用であるとした学生は両学期とも98%と高かった。また、講義内容のシラバスとの対応についても両学期ともほとんどの学生が対応していたとしている。

設問⑦:講義から知的刺激を受けたかどうかに関する設問である。知的刺激を受けたと感じた学生は1学期は93%、2学期は95%であった。

設問⑧、⑨:講義で使われる機器や教材の有用性に関する設問である。教材が役立ったとした学生は

1 学期は 90%以上であったが、2 学期は 80%台とやや低かった。2 学期は未記入が多かったことから、本設問に該当しないケースがあった可能性が考えられる。

設問⑩～⑫:教員の講義の仕方に関する設問である。1、2 学期ともに 95%を超える学生が教員の声や話し方が聞き取りやすかった、ないしは概ね聞き取りやすかったと感じている。また、講義の組み立てに関しても 93～94%程度の学生が分かりやすさについて良好な評価を行っている。自主学習を促す指導と討議への対応に関しては、1 学期は 94%、2 学期は 91%の学生が良好な評価を行っている。

設問⑬～⑮:オフィスアワーの設定、講義の進度、教員の熱意に関する設問である。1、2 学期を通して 95%を超える学生がオフィスアワーの設定が適切であると感じている。講義の進度に関しては96～97%の学生が適切だとしており、教員の熱意もほとんどの学生が感じ取っている。

設問⑯:講義の満足度を問う設問である。両学期とも 95%を超える学生が満足ないしはある程度満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 難易度の設定が適切であった。
- ② 質問や発言による積極的な取り組みをした学生や、自主的に学習した学生の割合が改善されていた。
- ③ シラバスの有用性と、その実際の講義との対応の評価が高かった。
- ④ 教員の声、話し方が聞き取りやすく、かつわかりやすかった。
- ⑤ 進度、教員の熱意、満足度についても評価が高かった。

【改善を要する点】

- ① 質問や発言などによる積極的な取り組みをあまりしなかった学生も依然として四分の一程度存在した。
- ② 講義に関する自主的な学習をあまりしない、あるいは全くしない学生も 2 割程度いた。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

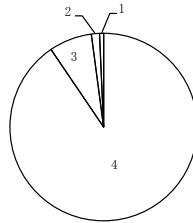
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

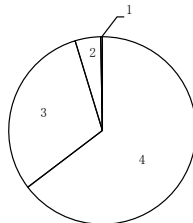
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。	4 90%以上	530	90.6
	3 80%～90%未満	43	7.4
	2 70%～80%未満	8	1.4
	1 70%未満	4	0.7
	未記入	0	0.0
2. あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。	4 適切であった	378	64.6
	3 概ね適切であった	179	30.6
	2 あまり適切でなかった	26	4.4
	1 全く適切でなかった	2	0.3
	未記入	0	0.0
3. 質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。	4 極めて積極的に取り組んだ	205	35.0
	3 積極的に取り組んだ	241	41.2
	2 あまり積極的に取り組まなかった	110	18.8
	1 全く積極的に取り組まなかった	27	4.6
	未記入	2	0.3
4. 講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。	4 学習した	235	40.2
	3 ある程度学習した	214	36.6
	2 あまり学習しなかった	105	17.9
	1 全く学習しなかった	31	5.3
	未記入	0	0.0

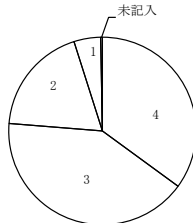
1.出席



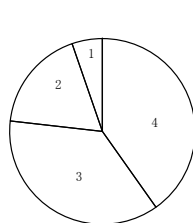
2. 難易度



3. 積極性



4. 自主学習



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

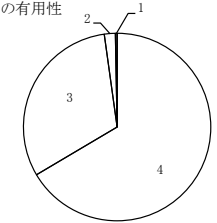
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

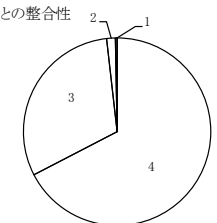
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。	4 有用であった	389	66.5
	3 概ね有用であった	183	31.3
	2 あまり有用でなかった	11	1.9
	1 全く有用でなかった	2	0.3
	未記入	0	0.0
6. 講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。	4 対応していた	394	67.4
	3 概ね対応していた	180	30.8
	2 あまり対応していなかった	9	1.5
	1 全く対応していなかった	2	0.3
	未記入	0	0.0
7. あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。	4 思った	336	57.4
	3 ある程度思った	208	35.6
	2 あまり思わなかった	29	5.0
	1 全く思わなかった	12	2.1
	未記入	0	0.0
8. 視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。	4 効果的だった	380	65.0
	3 ある程度効果的だった	168	28.7
	2 あまり効果的でなかった	15	2.6
	1 全く効果的でなかった	3	0.5
	未記入	19	3.2

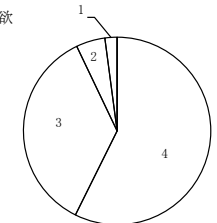
5. シラバスの有用性



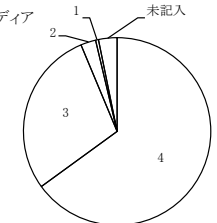
6. シラバスとの整合性



7. 学習意欲



8. 講義メディア



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

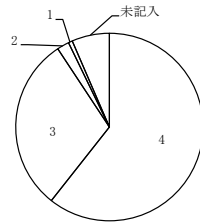
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

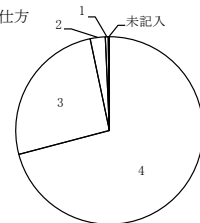
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。	4 役立った	355	60.7
	3 ある程度役立った	176	30.1
	2 あまり役立たなかった	12	2.1
	1 全く役立たなかった	4	0.7
	未記入	38	6.5
10. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。	4 聞き取りやすかった	415	70.9
	3 概ね聞き取りやすかった	151	25.8
	2 多少聞き取りにくかった	15	2.6
	1 聞き取りにくかった	3	0.5
	未記入	1	0.2
11. 理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。	4 わかりやすかった	361	61.7
	3 概ねわかりやすかった	188	32.1
	2 多少わかりにくかった	31	5.3
	1 わかりにくかった	4	0.7
	未記入	1	0.2
12. 教員は学生に講義への参加（質問、発言、自主的学習など）を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。	4 対応していた	374	63.9
	3 ある程度対応していた	177	30.3
	2 あまり対応していなかった	29	5.0
	1 全く対応していなかった	5	0.9
	未記入	0	0.0

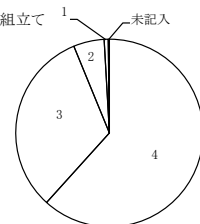
9. 教材



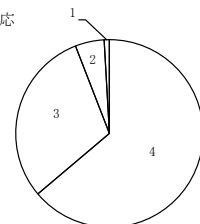
10. 説明の仕方



11. 講義の組立て



12. 学生対応



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成30年1学期）

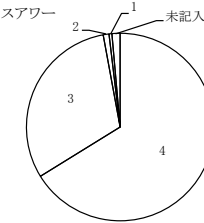
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

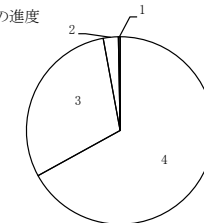
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4 適切である	387	66.2
	3 ほぼ適切である	181	30.9
	2 あまり適切でない	6	1.0
	1 適切でない	3	0.5
	未記入	8	1.4
14. あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。	4 適切であった	392	67.0
	3 概ね適切であった	176	30.1
	2 あまり適切でなかった	15	2.6
	1 全く適切でなかった	2	0.3
	未記入	0	0.0
15. 講義に対する教員の熱意を感じましたか。	4 感じた	397	67.9
	3 ある程度感じた	171	29.2
	2 あまり感じなかった	15	2.6
	1 全く感じなかった	2	0.3
	未記入	0	0.0
16. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 満足した	394	67.4
	3 ある程度満足した	166	28.4
	2 あまり満足しなかった	21	3.6
	1 全く満足しなかった	4	0.7
	未記入	0	0.0

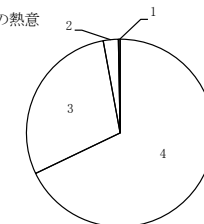
13. オフィスアワー



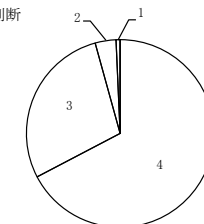
14. 講義の進度



15. 教員の熱意



16. 総合判断



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

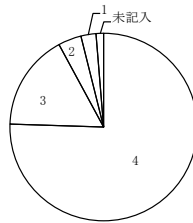
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

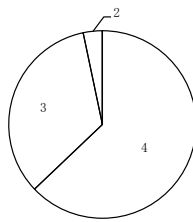
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。	4 90%以上	114	75.5
	3 80%～90%未満	25	16.6
	2 70%～80%未満	6	4.0
	1 70%未満	4	2.6
	未記入	2	1.3
2. あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。	4 適切であった	95	62.9
	3 概ね適切であった	51	33.8
	2 あまり適切でなかった	5	3.3
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
3. 質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。	4 極めて積極的に取り組んだ	60	39.7
	3 積極的に取り組んだ	54	35.8
	2 あまり積極的に取り組まなかった	27	17.9
	1 全く積極的に取り組まなかった	10	6.6
	未記入	0	0.0
4. 講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。	4 学習した	66	43.7
	3 ある程度学習した	55	36.4
	2 あまり学習しなかった	25	16.6
	1 全く学習しなかった	5	3.3
	未記入	0	0.0

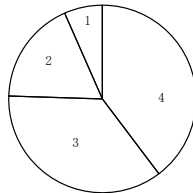
1.出席



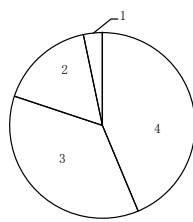
2. 難易度



3. 積極性



4. 自主学習



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

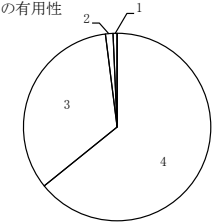
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

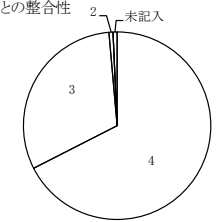
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。	4 有用であった	97	64.2
	3 概ね有用であった	51	33.8
	2 あまり有用でなかった	2	1.3
	1 全く有用でなかった	1	0.7
	未記入	0	0.0
6. 講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。	4 対応していた	102	67.5
	3 概ね対応していた	47	31.1
	2 あまり対応していなかった	1	0.7
	1 全く対応していなかった	0	0.0
	未記入	1	0.7
7. あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。	4 思った	88	58.3
	3 ある程度思った	55	36.4
	2 あまり思わなかった	5	3.3
	1 全く思わなかった	3	2.0
	未記入	0	0.0
8. 視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。	4 効果的だった	85	56.3
	3 ある程度効果的だった	45	29.8
	2 あまり効果的でなかった	2	1.3
	1 全く効果的でなかった	0	0.0
	未記入	19	12.6

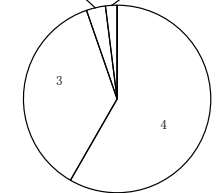
5. シラバスの有用性



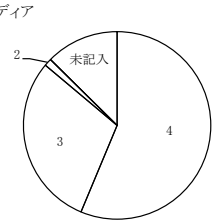
6. シラバスとの整合性



7. 学習意欲



8. 講義メディア



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

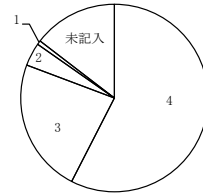
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

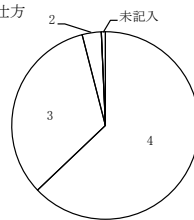
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。	4 役立った	87	57.6
	3 ある程度役立った	35	23.2
	2 あまり役立たなかった	6	4.0
	1 全く役立たなかった	1	0.7
	未記入	22	14.6
10. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。	4 聞き取りやすかった	95	62.9
	3 概ね聞き取りやすかった	50	33.1
	2 多少聞き取りにくかった	5	3.3
	1 聞き取りにくかった	0	0.0
	未記入	1	0.7
11. 理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。	4 わかりやすかった	92	60.9
	3 概ねわかりやすかった	49	32.5
	2 多少わかりにくかった	10	6.6
	1 わかりにくかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
12. 教員は学生に講義への参加（質問、発言、自主的学習など）を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。	4 対応していた	92	60.9
	3 ある程度対応していた	46	30.5
	2 あまり対応していなかった	11	7.3
	1 全く対応していなかった	2	1.3
	未記入	0	0.0

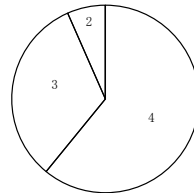
9. 教材



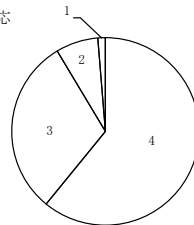
10. 説明の仕方



11. 講義の組立て



12. 学生対応



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成30年2学期）

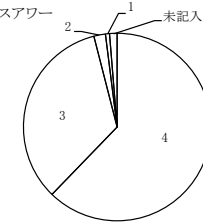
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

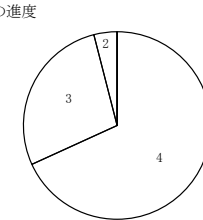
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4 適切である	94	62.3
	3 ほぼ適切である	51	33.8
	2 あまり適切でない	3	2.0
	1 適切でない	1	0.7
	未記入	2	1.3
14. あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。	4 適切であった	103	68.2
	3 概ね適切であった	42	27.8
	2 あまり適切でなかった	6	4.0
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
15. 講義に対する教員の熱意を感じましたか。	4 感じた	112	74.2
	3 ある程度感じた	37	24.5
	2 あまり感じなかった	1	0.7
	1 全く感じなかった	1	0.7
	未記入	0	0.0
16. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 満足した	110	72.8
	3 ある程度満足した	38	25.2
	2 あまり満足しなかった	3	2.0
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

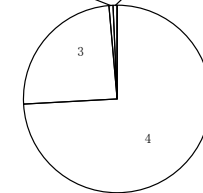
13. オフィスアワー



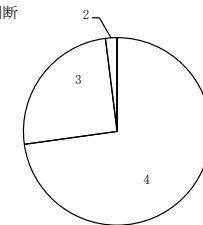
14. 講義の進度



15. 教員の熱意



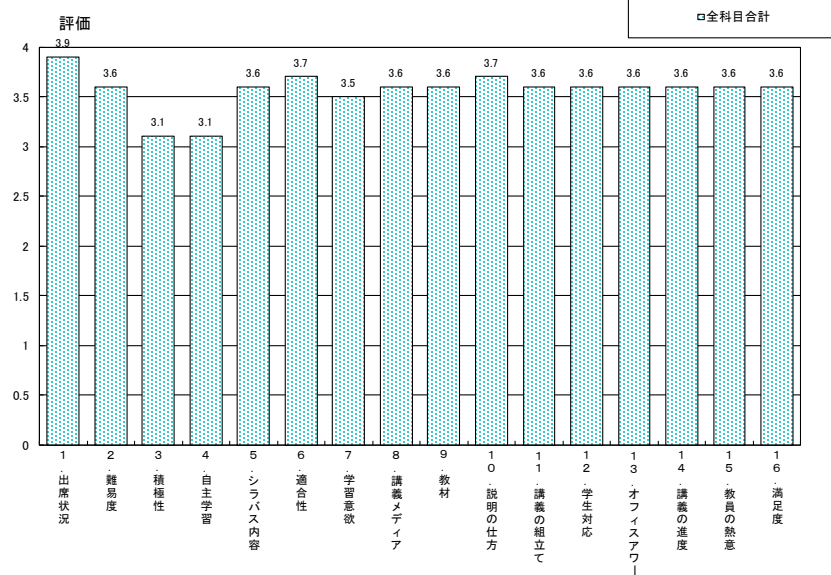
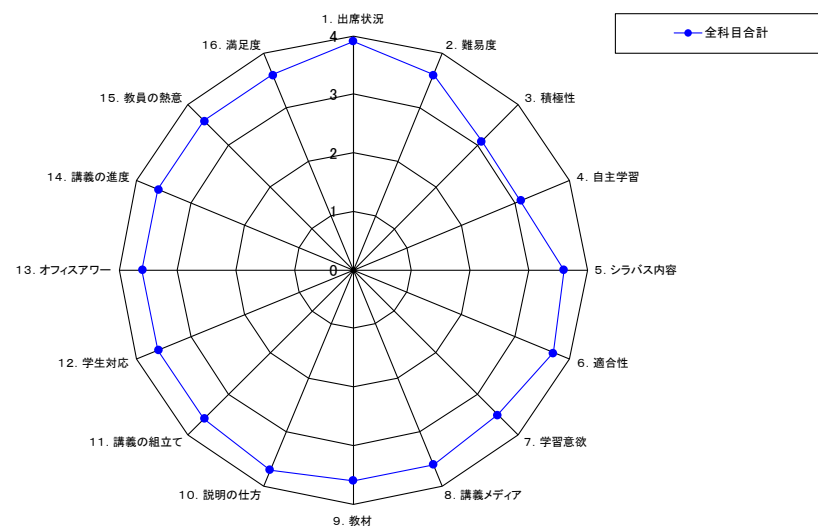
16. 総合判断



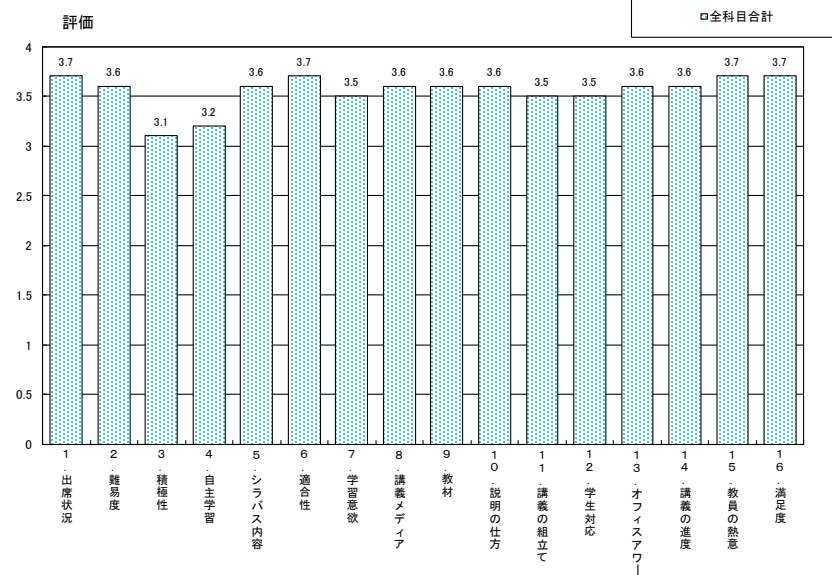
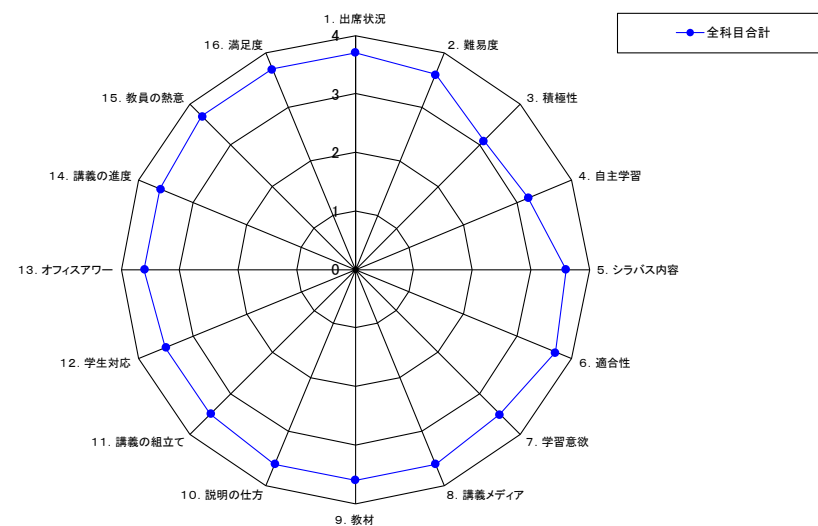
○全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席状況が1学期、2学期とも最も高く、3.9 および 3.7 であった。他にも、難易度、シラバスの内容・適合性、講義メディアや教材の活用、説明の仕方、オフィスアワー、講義の進捗や教員の熱意、満足度の評価が高く、両学期とも3.5を超える値であった。一方、積極性、自主学習については3.1～3.2であり、やや評価が低かった。その他の項目は3.5～3.6と良好な評価であった。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成30年1学期)
全科目合計



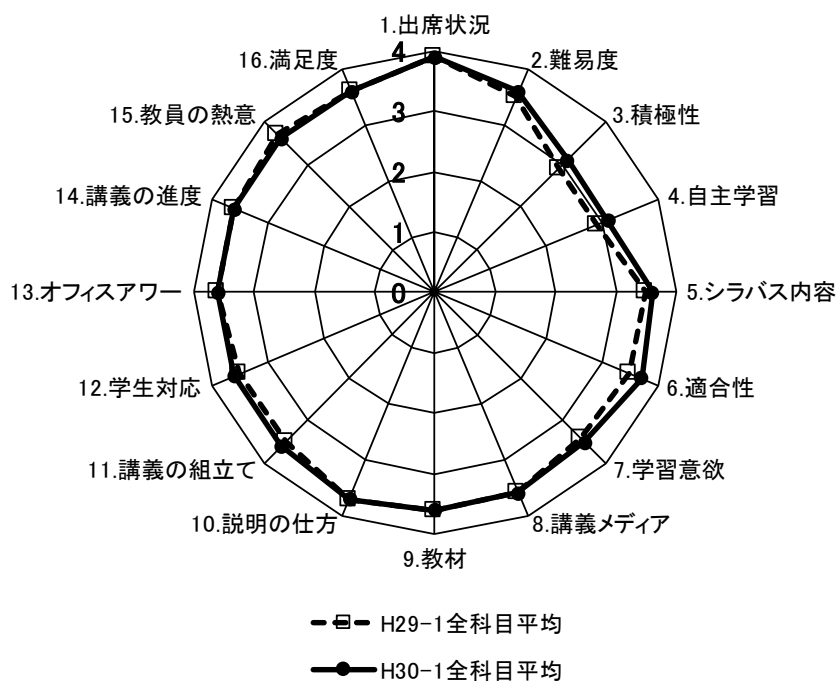
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成30年2学期)
全科目合計



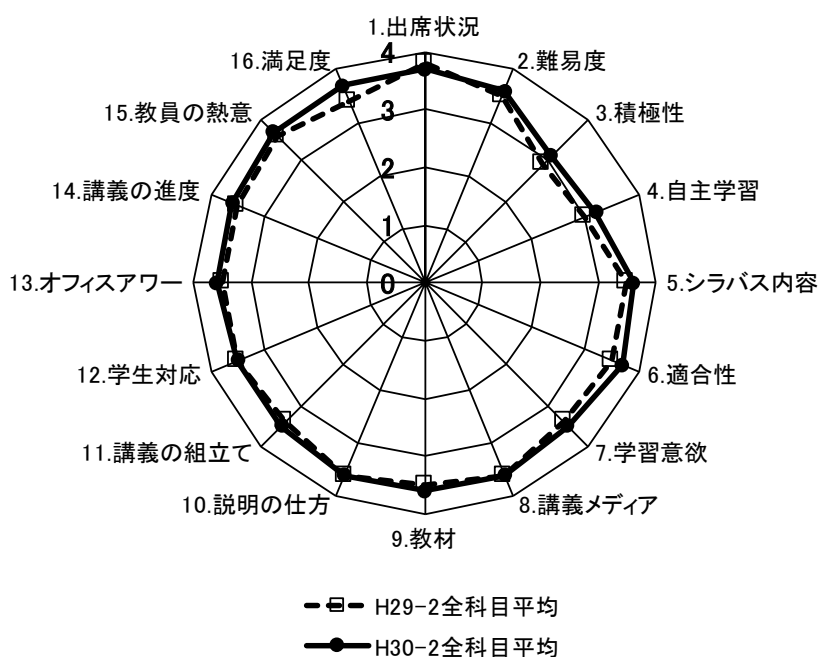
○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(平成 29 年度実施)と同じである。1 学期、2 学期とも前回と大きな変化はない中で、積極性と自主学習、シラバスに関する設問において、両学期を通して改善されている様子がうかがえる。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. 参考資料

- 1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙（平成 29 年度）
- 2) 授業評価実施科目表（科目別受講者数およびアンケート回収率）（平成 29 年度）
- 3) 「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について

質問用紙

専攻 _____ 学年 _____ 氏名 _____

切り取り線

講義名 _____ 担当教員名 _____

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート

このアンケートは農学研究科の講義の改善に学生諸君の意見を生かそうとするものです。率直かつ真摯な回答を期待します。

質問について、回答は該当する番号を記入して下さい。また、記述質問について、あなたの意見を自由に書いてください。なお、このアンケートへの回答が記入者の不利益とならないよう、集計は氏名欄を切り離して行います。また、質問に対する回答は集計後に教員へ開示されます。

【あなた自身についての質問】

	記入欄
1. あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。 (4:90%以上, 3:80%~90%未満, 2:70%~80%未満, 1:70%未満)	
2. あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。 (4:適切であった, 3:概ね適切であった, 2:あまり適切でなかった, 1:全く適切でなかった)	
3. 質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。 (4:極めて積極的に取り組んだ, 3:積極的に取り組んだ, 2:あまり積極的に取り組まなかった, 1:全く積極的に取り組まなかった)	
4. 講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。 (4:学習した, 3:ある程度学習した, 2:あまり学習しなかった, 1:全く学習しなかった)	

【講義と教員についての質問】

	記入欄
5. シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。 (4:有用であった, 3:概ね有用であった, 2:あまり有用でなかった, 1:全く有用でなかった)	
6. 講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。 (4:対応していた, 3:概ね対応していた, 2:あまり対応していなかった, 1:全く対応していなかった)	
7. あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。 (4:思った, 3:ある程度思った, 2:あまり思わなかった, 1:全く思わなかった)	
8. 視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。(ない場合は記入不要) (4:効果的だった, 3:ある程度効果的だった, 2:あまり効果的でなかった, 1:全く効果的でなかった)	
9. テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。(ない場合は記入不要) (4:役立った, 3:ある程度役立った, 2:あまり役立たなかった, 1:全く役立たなかった)	
10. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。 (4:聞き取りやすかった, 3:概ね聞き取りやすかった, 2:多少聞き取りにくかった, 1:聞き取りにくかった)	
11. 理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。 (4:わかりやすかった, 3:概ねわかりやすかった, 2:多少わかりにくかった, 1:わかりにくかった)	
12. 教員は学生に講義への参加(質問、発言、自主的学習など)を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。 (4:対応していた, 3:ある程度対応していた, 2:あまり対応していなかった, 1:全く対応していなかった)	
13. この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。 (4:適切である, 3:ほぼ適切である, 2:あまり適切でない, 1:適切でない)	
14. あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。 (4:適切であった, 3:概ね適切であった, 2:あまり適切でなかった, 1:全く適切でなかった)	
15. 講義に対する教員の熱意を感じましたか。 (4:感じた, 3:ある程度感じた, 2:あまり感じなかった, 1:全く感じなかった)	
16. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。 (4:満足した, 3:ある程度満足した, 2:あまり満足しなかった, 1:全く満足しなかった)	

【記述欄】この講義に関して、「よい点」と「改善すべき点」に分けて自由に書いて下さい。

用紙が不足する場合は裏面を利用して下さい。

・よい点

・改善すべき点

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成30年度1学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	585	696	84.1%
AM1111	水圏植物生態学特論	10	11	90.9%
AM1112	食品化学特論	24	26	92.3%
AM1121	微生物科学合同講義	57	71	80.3%
AM1131	水圏資源生態学特論	15	23	65.2%
AM1132	草地科学特論	11	12	91.7%
AM1133	応用微生物学特論	10	12	83.3%
AM1141	フィールド社会技術学特論	8	8	100.0%
AM1151	水圏動物生理学特論	4	4	100.0%
AM1221	園芸生産システム学特論	11	12	91.7%
AM1222	組織細胞機能学特論	49	52	94.2%
AM12310	土壌立地学特論	11	12	91.7%
AM1241	国際開発学特論	7	8	87.5%
AM1242	動物生殖科学特論	8	9	88.9%
AM1251	食・農アセスサイエンス	9	12	75.0%
AM1331	環境経済学特論	1	5	20.0%
AM1333	動物資源化学特論	30	30	100.0%
AM1334	機能分子解析学特論	13	13	100.0%
AM1341	植物生命科学合同講義	41	51	80.4%
AM1411	環境適応生物学特論	12	12	100.0%
AM1421	水産資源化学特論	10	10	100.0%
AM1422	動物微生物学特論	33	39	84.6%
AM1424	海洋生命遺伝情報システム学特論	3	3	100.0%
AM1431	動物生理科学特論	7	8	87.5%
AM1512	動物栄養生化学特論	6	9	66.7%
AM1522	植物病理学特論	4	4	100.0%
AM1531	生命圏倫理学	97	129	75.2%
AM1605	災害復興合同講義 I	10	10	100.0%
AM1705	農林水産政策学特論	20	30	66.7%
AM1706	応用遺伝工学特論	64	71	90.1%

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(平成30年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	151	267	56.6%
AM1351	水圏生物生産科学合同講義	11	38	28.9%
AM2131	水圏資源動態学特論	13	24	54.2%
AM2213	生物有機化学特論	7	15	46.7%
AM2221	生物資源利用学	11	43	25.6%
AM2251	先端産業開発論	24	26	92.3%
AM2332	生物海洋学特論	8	10	80.0%
AM2351	動物遺伝育種学特論	4	7	57.1%
AM2421	作物生産学特論	12	16	75.0%
AM2432	農業経営経済学特論	8	10	80.0%
AM2433	植物細胞生物学合同講義	6	8	75.0%
AM2601	生命共生科学	33	41	80.5%
AM2702	複合生態フィールド制御学特論	4	7	57.1%
AM3101	資源環境経済学特別演習 I (定例研究会)	6	16	37.5%
AM3201	天然物合成化学特論	4	6	66.7%

学 生 諸 君 へ

農学研究科授業担当教員 各位

農学研究科の学生による授業評価の実施について

農学研究科評価室長

平成30年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学研究科の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

学生による授業評価の実施について(依頼)

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。

つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

記

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される授業科目（前期課程対象）について実施します。

2. 実施方法

授業中に授業担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記入し、授業担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して下さい。

3. 評価結果の取り扱い

この評価結果は集計の後公表し、今後の農学研究科の授業改善の参考となります。

平成30年6月

農 学 研 究 科 長

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される農学研究科授業科目（前期課程）について実施します。受講者数に関らず全科目が対象となります。ただし、全学で実施している合同講義の読替え科目については対象となりませんので、その場合は教務係までご連絡願います。

2. 実施日時・方法等

(1) 実施日時について

授業評価の実施は原則として、講義の最終日をお願いします。

(2) 実施方法について

授業を担当している先生方は、授業終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。

(3) 評価用紙の提出について

アンケート用紙の回収は、学生(1名)に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いします。

(4) 学生への周知について

学生には、授業評価に協力するよう掲示しています。

3. 評価結果の取り扱い

(1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。

(2) アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。

(3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

学生による授業評価アンケート実施結果報告書

2020 年 3 月

編 集：東北大学大学院農学研究科評価室・評価委員会

評価室長	鳥山 欽哉		
評価委員会	尾定 誠	◎	金山 喜則
	○ 佐藤 正寛		大越 和加
	桑原 重文	○	青木 優和
	井元 智子		菅野 均志
	北柴 大泰		深澤 充
	石田 宏幸		中嶋 正道
	北澤 春樹		此木 敬一
評価室員	小野寺 和彦		早坂 梓

(◎学生授業評価専門委員会委員長、○同専門委員会委員)

発 行：東北大学大学院農学研究科

〒980-8572 葉区荒巻字 468-1

Tel: 022-757-4003 Fax: 022-757-4020
